

官報 號外

大正十年二月六日 日曜日

印刷局

第四十四回衆議院議事速記録第十一號

大正十年二月五日(土曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十號 大正十年二月五日

午後一時開議

- 第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 民事訴訟費用法中改正法律案(大寺慶男君提出) 第一讀會
- 第七 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(守屋松之助君外二名提出) 第一讀會
- 第八 埋葬法案(松下禎二君提出) 第一讀會
- 第九 身元保證ニ關スル法律案(上島益三郎君提出) 第一讀會
- 第十 治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提出) 第一讀會
- 第十一 治安警察法中改正法律案(小山松壽君外三名提出) 第一讀會
- 第十二 治安警察法中改正法律案(押川方義君外二名提出) 第一讀會
- 第十三 決議案(對露政策ニ關スル件)(中野正剛君提出) 第一讀會
- 第十四 宇岩鐵道敷設ニ關スル建議案(植竹龍三郎君外五名提出)
- 第十五 川内川改修ニ關スル建議案(萩亮君外四名提出)
- 第十六 發明獎勵ニ關スル建議案(與村安太郎君外二名提出)
- 第十七 產業組合補助ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)

第十九 太茂、大黑鐵道敷設ニ關スル建議案(松岡俊三名外三名提出)

第二十 市實鐵道敷設ニ關スル建議案(友常殺三郎君外二名提出)

○議長(與繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(原田書記官朗讀)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法中改正法律案

提出者 戶水 寛人君

遠美鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 松浦五兵衛君

池田猪三郎君

舞田壽三郎君

北井波治目君

吉原祐太郎君

大垣、大野、金澤間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 西村 正則君

野村勘左衛門君

柳原九兵衛君

山本条太郎君

米田 稔君

熱海線完成ニ關スル建議案

提出者 森 格君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

米價調節ニ關スル質問主意書

提出者 早川 龍介君

思想問題ニ關スル質問主意書

提出者 清瀬 一郎君

○議長(與繁三郎君) 以上二月三日提出

(以上二月五日提出)

一 去三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

會計法改正法律案外一件

指田 義雄君 伊澤平左衛門君

野村治三郎君 北井波治目君

妹尾 順平君 水野吉太郎君

毛里保太郎君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

會計法改正法律案外一件

指田 義雄君 伊澤平左衛門君

野村治三郎君 北井波治目君

妹尾 順平君 水野吉太郎君

毛里保太郎君

柿原政一郎君 山口 嘉藏君 高島七郎右衛門君

鈴置倉次郎君 紫安新九郎君 山道 襄一君

八並 武治君 近藤 達兒君 森下龜太郎君

一 去三日函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案外一件委員

安原仁兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鈴木義隆君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一 去三日理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

借地法案外一件委員

理事 森山儀文治君(理事横山勝太郎君補闕)

一 昨四日理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

食糧政策及農家經濟ノ維持確立ニ關スル建議案委員

理事 西村丹治郎君(理事土井權大君補闕)

一 昨四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

會計法改正法律案外一件委員

委員長 指田 義雄君 理事 岩崎幸治郎君

一 昨四日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第六部 懲罰委員 石井三郎君(植竹龍三郎君補闕)

一 昨四日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ

議席ヲ左ノ如ク變更セリ

一四 尾崎 行雄君 二〇 田川 大吉郎君

三六三 中村 喜平君 三六四 齋藤 壽雄君

三六七 本田 恆之君 三八八 井上 剛一君

三九二 飯塚 春太郎君

○議長(與繁三郎君) 會議ヲ開キマス、日程...

○星島二郎君 一昨日ノ議場ニ於キマシテ、田川氏並ニ

尾崎氏ノ憲法違反ノ問題ニ就キマシテ...

○議長(與繁三郎君) 何事ニ就テノ發言デス、議事ノ進

行デスカ

○星島二郎君 議長ニ確メタイ、其當時ニ於テ議長ハ所

謂普選同盟案ト、所謂憲政會案トハ性質ガ違フ、即チ憲

政會案ニハ獨立ノ生計ニ云々ト云フ文字ガ有テ、全然別

物デアルト仰セラレタアリマス、然ラバ所謂普選同盟案

並ニ憲政會案ハ二讀會ヲ開クヘカラスト院議ニ於テ決議

ニナリマシタガ、若シ憲法ノ解釋上、議長ノ仰セノ如クナリ
マスレバ、滿二十一歳トカ、或ハ女子ヲモ含ムトカ、或ハ獨
立ノ生活ト云フ代リニ、公民權ト云フヤウナ文字ヲ入レマ
シテ、再ビ衆議院ニ提出致シマシタラバ、議長ハ之ヲ御受
付ニナリ、再ビ此議會ニ於テ院議ニ問ハレコトデアリマセ
ウカ、憲法上非常ニ重大ナ解決問題デスカラ、茲ニ明ニ
議長ノ御宣明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 御答致シマス、既ニ是迄ニ出テ否
決サレタ點ト異ル點ニ就テ、選舉法ノ改正案ヲ提出サレ
方ガアルナラバ、矢張日程ニ上セテ院議ニ問フ考デゴザイマ
ス、日程第一煙草專賣法中改正法律案ノ一讀會ヲ開キマ
ス

第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)

煙草專賣法中改正法律案

第二十條ノ三 煙草耕作ノ耕作シタル煙草カ移植

後收穫前ニ於テ風害、水害又ハ電害ニ罹リ著シキ損
害ヲ被リタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ煙草
耕作者ニ損害ノ一部ニ對スル補償金ヲ交付スルコト
ヲ得

附則

本法ハ大正十年四月一日以後ニ生ジタル損害ニ關スル
分ヨリ之ヲ適用ス

○議長(奥繁三郎君) 大藏大臣

○國務大臣(子爵高橋是清君) 唯今上程ニナリマシタ

法案ニ就キマシテ、簡單ニ説明ヲ致シマス、煙草ノ耕作者ハ
嚴重ナル法規ノ下ニ耕作スルノ義務ガアリマス、而シテ耕
作ノ途中ニ於キマシテ、災害ニ依リマシテ甚シキ不作ニ陥ル
コトガアリマシテモ、自由ニ他ノ有利ナル作物ニ轉ズルコト
ガ出來ナイノデアリマス、而シテ其製産シタル葉煙草ハ、災
害ノ有無ヲ問ハズ、其品質ニ應ジマシテ、既ニ公ニ定メマシ
タル賠償價格ノ下ニ、納付シナケレバナスコトニナッテ居リ
マス、災害ノ爲メニ收穫ノ高ガ減リマシテモ、又其品質ガ下リ
マシテモ、他ノ農作物ノ如ク、需要供給ノ關係ニ基イテ、價
格ノ向上ヲ見ルコトガ出來ナイノデアリマス、之ヲ補フ途ガ
無クナッテ居リマス爲メニ、煙草ノ耕作ガ動モスレバ危險視
セラレ、隨テ耕作地ノ地域ノ減少ヲ來ス原因トナル虞ガア
リマス、仍テ風害水害並ニ電害等ノ如キ、人力ヲ以テ防グ
ベカラザル所ノ災害ニ對シマシテ、其罹災補助ノ途ヲ開キマ
シテ、サウシテ産地ノ安定ヲ圖リマシテ、煙草專賣事業ノ遂

行ヲ圓滿ニ確實ナラシムル必要ガアリマシテ、從來カラ屢、
此必要ニ就テ論議セラレ證議ヲ遂ゲマシテ、此度本案ヲ提
出スルニ至リタノデゴザイマスルカラ、御審議ノ上協賛ヲ與
ハレシコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○高田松平君 議長

○議長(奥繁三郎君) 高田松平君、何デスカ

○高田松平君 質問ガアリマス

○議長(奥繁三郎君) 此案ニ就テデスカ

○高田松平君 無論デスカ、外ノ事デハナイ

○高田松平君 登壇、拍手起ル

○高田松平君 唯今ノ專賣法中改正法律案ノ内容ニ就
キマシテ、少シク政府ノ質問致シタイト思フ、此改正案ハ大
藏大臣ノ説明ノ通り、煙草耕作業者ノ安定ヲ得セシムル
爲メニ、即チ專賣收入ノ基礎ヲ安定ナラシムル爲メニ本案
ヲ提出シタ、斯ウ云フコトデゴザイマス、是ハ四十二議會及
四十三議會ニ於テ、本院ニ於テ此意味ノ建議案ヲ提出致
シマシタ、此建議案ニ基イテ提案サレタモノト思ヒマス、大
體ノ趣意ニ於テ私勿論賛成デゴザイマスルガ、併ナガラ此
災害ト稱スル中ニ風害、水害、及電害ノミヲ數ヘテ、病害ヲ
此改正法律案ノ中ニ加ヘナイ其理由ヲ伺ヒタイノデゴザイ
マス、病害ニハ無論種々ゴザイマスレドモ、最モ煙草耕作
業者ノ恐レル病害ハ、氣候風土ニ依リ生ズル、俗ニ立枯病
ト稱スル病デゴザイマス、此病害ハ統計上ヨリ見マシテモ、
詳シイ事ハ此處ニ持ッテ居リマセヌケレドモ、此病害ニ依
テ受クル耕作業者ノ損害ハ、風害、水害及電害等ノ金額ヨリ
モ、餘程巨額ニ達シテ居ルコトハ、是ハ政府ノ專賣局ニ居ル
所ノ方モ能ク知ル所デアリマス、勿論病害モ種々ゴザイマ
スルケレドモ、俗ニ謂フ立枯病ト云フ病氣、即チ氣候風土ニ
依リテ非常ナ傳播力ヲ持ッテ、殆ド其全部ガ此病害ニ罹ッ
收入ガ無クナルト云フヤウナコトガ多クアルノデゴザイマス、
斯様ニ病害ノ甚シキモノアルニ拘ラズ、之ヲ此改正案ニ病
害ヲ加ヘザル理由ハ何レニ在リヤ、斯ウ申セバ多分政府ハ、
斯ウ云フ御答ヲスルデゴザイマセウ、病害ハ人爲ヲ以テ之ヲ
抑ヘテ、風害、水害、電害ノ所謂天災ト異ナリ、病害ハ人爲
ヲ以テ之ヲ矯正スルコトガ出來ル、除却スルコトガ出來ル
斯ウ云フコトノ解釋ダラウト思ヒマスルケレドモ、併ナガラ現
在ノ狀況ニ於キマシテ、現在ノ煙草耕作業者ノ狀態ニ
於キマシテハ、所謂立枯病ナモノニ就キマシテハ、策ノ施シ
ヤウガナイノデアアル、詰リ氣候ニ依リテ風土ニ依リテ生ズル、一
種ノ天災デゴザイマス、勿論非常ナ經費ヲ掛ケマシテ、全然
土地ノ改良ヲ爲セバ或ハ出來ルカモ知レマセヌ併ナガラ、是
ハ經濟上到底許シマセヌ、故ニ此立枯病ハ煙草耕作業者
ノ最モ憂フル所デアリマシテ、而シテ最モ損害ノ多イモノデ

ゴザイマス、是ハ人爲ヲ以テ除却シ得ルト稱シテ本法ニ加ヘ
ザルコトハ、甚シキ不公平ヲ生ズル結果ニナルノデゴザイマ
ス、然ルニ此病害ヲ少シモ此法律ニ加ヘテ、病害ニ對スル損
害補助ノ方法ヲ立テナイ理由ハ如何デアルカ、政府ノ所見
ヲ伺ヒタイト思ヒマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 高橋國務大臣

○國務大臣(子爵高橋是清君) 唯今ノ高田君ノ御質問

ニ對シテ御答ヲ致シマス、今回政府ノ提案致シマシタル趣
旨ハ、此處デ御述ニナッタ通り、全ク不可抗力ニ屬スル部分
ニ對シテ、罹災ノ補助ヲシヤウト云フ趣意ニ出テ居ルノデゴ
ザイマス、而シテ此病害立枯病等ニ就キマシテハ、學理上ニ
於テハ其害ヲ減ジ得ル、全ク防ギ切ラヌデモ、減ジ得ルト云
フコトハ學理上明カナ事デアリマシテ、是ハ今後益々研究ヲ
重ネテ、人爲ヲ以テ防ギ得ルモノハ防ガ方ニ努力セネバナラ
ヌノデアリマス、而シテ此方ノ災害ニ就キマシテハ、政府ト致
シマシタハ此學理ノ應用ニ依リテ、成ベク人力ニ依リテ之ヲ
防グト云フ方ニ努力スル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、徒ラニ
病害等ニ就テモ補助ヲシマスルコト云フト、學理應用ノ方ニ
就テノ研究ヲ怠リ、或ハ人力ヲ以テ防ギ得ルモノモ、ソレヲ
怠ルト云フヤウナ又一方ニ於テハ弊ヲ生ジマスカラシテ、病
毒等ニ就テハ政府ハ學理應用ノ之ヲ研究シテ、成ベク人力
ヲ以テサウ云フ事ヲ防グト云フ方ニ力ヲ盡シテ、之ヲ助ケタ
イト考ヘテ居リマス、是ダケ御答致シテ置キマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託
スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勲君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名アラ

シコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ發議ニ御異議ハアリマセ

ヌカ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ガ無イト認メマス、仍テ岩

崎君ノ發議通り決シマス——日程第三、一年現役小學校

教員俸給費國庫負擔法案ノ第一讀會ヲ開キマス——上

田彌兵衛君——文部大臣

第三 一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案(政府提出) 第一讀會

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案

第一條 市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ現役ニ服ムル者ノ服役中ノ俸給ノ爲市町村ニ於テ要スル費用ハ國庫之ヲ負擔ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔スル金額ハ毎年度之ヲ市町村ニ交付ス

第三條 本法ノ適用ニ付テハ市町村組合又ハ町村組合ハ之ヲ市町村ト看做ス市制又ハ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル市町村ニ準ズヘキ公共團體其ノ組合又ハ小學校設置區域亦同シ

第四條 本法ニ依リ俸給費ヲ國庫ニ於テ負擔スル小學校正教員ハ市町村義務教育費國庫負擔法ノ適用ニ付テハ同法第三條ノ正教員ノ數ニ之ヲ算入セス

附則

本法ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣中橋德五郎君登壇、拍手〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 此一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス、是ハ大正七年ノ第四十議會ニ於テ、徵兵令ノ改正ヲ協賛シナリマシタノデ、其結果ト致シマシテ、本年ノ三月ニ卒業シマスル師範學校ノ卒業生ヲ、一年現役兵ニ採ルト云フコトニナリタノデアリマス、從來ハ師範學校ノ卒業生ハ、御承知ノ通りニ六週間服役スルコトニナリテ居リマシタガ、此度ハ一年通ジテ現役ニ服スルノデアリマス、其間ノ俸給ヲ當人ニ支給シナクチャナラナイ、此俸給ノ八割ヲ國庫ヨリシテ支出スルコトニ改正シマシテ、市町村ノ負擔トシナシト云フノガ、此法案ノ趣旨デアリマス、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛アラント希望致シマス(拍手)

○上田彌兵衛君 本案ニ對シテ總理大臣ニ質問ガアリマス、總理大臣ノ御出席ヲ願ヒマス

〔上田彌兵衛君登壇〕

○上田彌兵衛君 本案ニ對シマシテ、簡單ニ質問ヲシテ見タイト思フデアリマス、本案ハ小學校教員ノ一年現役ニ對シテ、教員俸給ノ國庫負擔ノ案デアリマスガ、此案ニ對シテハ洵ニ結構デアルト思フデアリマスガ、此問題ヨリモ、尙ホ一般小學校教員ノ俸給ノ國庫負擔ニ對シマシテハ、現下非常ノ問題トナリテ居リマス次第デアリマス、此根本ニ於テ政府ノ御意嚮ヲ聽イテ置キタイト思フデアリマス、御承知ノ通り小學校教員ノ俸給ノ國庫支辨ハ、寺内内閣ノ際ニ二千萬圓ヲ支給サル、コトニナリマス、爾來現内閣ニ至リマス、之ガ二千萬圓ニ増額ニナリタノデアリマス、然ルニ今ヤ全國ノ小學校教員俸給ノ負擔額ハ、約一億圓ニ増大サレテ居ルデアリマス、而シテ地方ノ經費負擔ハ年々歳々

増額致シマシテ、今ヤ地方民ガ自治ノ爲メニ負擔致シマス經費ガ、非常ナ重キ負擔トナリテ居リマスノデアリマス、ソレ故ニ此地方ノ自治ノ發達ノ爲メニ對シマシテモ、此經費ヲ輕減スル爲メニ、殆ド地方經費ノ六七割ヲ負擔シテ居リマス所ノ此小學校教員俸給費ヲ、全部國庫ノ負擔トシテ、然ルベキモノト本員ハ信ジテ居ルデアリマス、(同感)ト呼フ者アリ)又本問題ノ性質カラ致シマシテモ、教育ノ根本義カラ致シマシテモ、本經費ノ如キハ、國庫ガ負擔スルノガ至當デアリタノデアリマス、然ルニ全國通ジテ約一億圓ノ大ナル負擔ニ對シテ、僅ニ政府ハ其二割ヲ負擔シテ居ルニ過ギナイノデアリマス、(一割々々ト呼フ者アリ)一割デアリマス、其意味デアリマス、私ハ本案提出以外ニ、政府ハ此一般小學校教員ノ俸給負擔ニ對シテ、將來如何ナル處置ヲ執ラハ、ノデアリカ、唯ダ單ニ此一年現役ノ國庫負擔ニ止メラレルノデアリカ、又ハ一般小學校教員負擔ヲ、相當ノ程度マデ國庫ガ負擔セラハ、ノデアリカ、今ヤ此問題ハ御承知ノ如ク、既ニ本會議ニモ二件ノ提出ガアリマシテ、委員付託トナリテ審議セラレテ居ルデアリマス、而シテ之ニ對シマスル全國カラノ請願ハ、殆ド數十件ニ上リマシテ、今ヤ天下ノ大ナル輿論トシテ、國民ハ之ヲ希望シテ居ルデアリマス、カ、相當之ニ對シテ、政府ノ御意思ノ在ル所ヲ明カニ御聽シテ置キタイノデアリマス、故ニ此質問ヲ致シタ次第デアリマス

○議長(奧繁三郎君) 原總理大臣

〔國務大臣原敬君登壇〕

○國務大臣(原敬君) 唯今上田君ノ質問ニ就キマシテ、政府ノ所見ヲ大體述ベ置キマス、教育費ノ近來非常ナル増加ヲ致シタルコトハ、茲ニ贅辯ノ餘地ハナイノデアリマス、之ガ爲メニ先年義務教育費ノ國庫補助一千万圓以上ト云フ法律モ成立致シ、豫算モ亦一千万圓支出シテ居ルノデアリマス、更ニ財政ノ許ス限リニ於テハ、之ヲ増加スルコトハ無論差支ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ財政ニ於テハ、俄ニ此點ニ増加スルコトニ云フコトモ甚ダ出來難イ狀態デアリ、斯様ナル次第デアリマスカラ、政府ニ於テハ今日考ヘテ居リマス所ヲ、此機會ニ於テ申シテ置キタイ、教員ノ俸給ヲ國庫支辨ニ致スト云フヤウナ一事デモ、唯今上田君ノ言ハル、如ク既ニ巨額ノ金デアリマス、到底今日ノ財界デハ俄ニ應ジ切ラヌノデアリマス、然ラバ一千万圓ヲ二千万圓ニ致スト云フ方針ガ執レルカト云フト、是亦容易ナル事デハナイノデアリマス、國庫ノ狀態ハ左様デアリ、顧ミテ地方ハドウデアリカ、各地方費ノ増加ト云フモノハ、近年著シイモノデアリマス、之ガ爲メニ附加税ノ制限等ヲ緩メマシタガ、中ニ地方税ガ増加致シテ、地方民ノ負擔ハ重キガ上ニ重キヲ加ヘ

ルノデアリマス、而シテ其地方費中、何ガ一番巨額ニ上リテ居ルカト申セバ、爰ニ私ガ評シク申スマデモナク、土木費ト教育費デアリマス、土木費ノコトハ姑ク措キマシテ、此教育費ガ非常ニ増加スルガ爲メニ地方ハ負擔シ切レヌ、故ニ教員ノ俸給ヲ國庫支辨ニシテ費ヒタイトカ、其他補助額ヲ増加シテ吳レトカ云フ請求ハ、近年陸續出テ參ルデアリマス、之ニ就テ政府ハドウカ致シマセウト考ヘマシテモ、國庫ノ狀態ハ唯今申シタル通り、地方ノ財源モ亦限リアリ、附加税ノ制限ヲ如何ニ致シマシタ所デ、中ニ地方民ノ負擔ハ重キガ上ニ重キヲ加ヘマスカラ、此上更ニ非常ナル負擔ヲ負ハシムルト云フコトモ、甚ダ出來難イ狀態デアリ、然ラバ個人ハドウデアリカ、義務教育ノコトデアリカ、苟モ學齡ニ達シタル子弟ヲ持テ居ル者ハ、必ズ修學サセナケレバナラヌ、之ガ爲メニ個人ノ負擔モ亦多イ、中ニ小學校ノ學齡兒童ヲ就學サセルニハ、年々少カラヌ費用ヲ増シ、アル、是ハ無論物價騰貴ノ關係モアリマセウガ、其他ニモ亦原因ガアルカノ如ク察セラハ、宛ニ角國庫ニ於テモ、地方費ニ於テモ、個人ノ負擔ニ於テモ、此際何トカ考慮致サナケレバナラヌ、時ニ到リテ居ルノデアリマス、是ニ於テ、政府ノ考ヘマス所デハ、教育費ノ如キモノヲ増加一方ニ放任シテ置クコトハ出來ナイノデアリマス、遠ニ國庫モ堪ヘ切レヌ、地方費モ堪ヘ切レヌ、個人モ堪ヘ切ラヌト云フ狀況ニ立至ルト考ヘマスカラ、之ニ就テ相當ナル整理ヲ致スコトヲ必要ト考ヘ、整理ヲ致シテ減ズベキモノハ減ジ、ドウシテモ支出シナケレバナラヌモノヲ支出シテ、先ヅ以テ個人ノ負擔モ多少輕減致シ、地方ノ負擔モ多少ノ輕減ヲ圖リ、國庫モ亦増加ニ次グニ増加ヲ以テスルヤウナコトナクシテ行ケルモノナラバ、其方針ヲ實行致シテ見タイ、ソレデモ尙ホ必要ナモノハ、如何ヤウナル方法ヲ以テシテモ、國庫ナリ地方費ヲ増加シナケレバナラヌセヌガ、先決問題トシテハ、此教育費ヲ整理スルコトガ必要ナリト考ヘテ居ル、是ハ制度ノ關係ヨリ參ルモノモアリマセウ、習慣ヨリ參ルモノモアリマセウ、無用ナル費用ヲ支出シテ居ルト云フ次第デアリマセヌガ、或ハ節約シ得ベキモノヲ節約セズシテ居ルカモ知レヌ、ト云フ疑ヲ懷カケレバナラヌ點モ多クアル、斯様ナル次第デアリマスカラ、政府ハ茲ニ一ノ調査會ヲ設ケ、文部、內務、大藏ト云フヤウナ當該ノ人ニハ無論ノ事、在野ノ有力者等ヲ集メテ、此教育費ニ向テ大整理ヲ致シタイト考ヘ、大整理ヲ致シ、個人ノ負擔モ輕減セラレルダケ輕減シ、地方費ノ節約モ出來ルダケ節約シ、而シテ國庫ハ已ムヲ得ナケレバ支出スル方法モ執ラナケレバナラヌガ、斯様ナル整理ヲ致サヌケレバ、唯ダ年々増加ニ次グニ増加ヲ以テシテ、際限ナク費用ヲ増スト云フコトハ、國民ノ負擔シ切レルモノデアリナイト考ヘ、故ニ近日政府ニ於テハ此

函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案委員長 萩 亮

衆議院議長與繁三郎殿

報告書

一大正二年法律第九號中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十年二月三日
大正二年法律第九號中改正法律案委員長 萩 亮

衆議院議長與繁三郎殿

〔萩亮君登壇、拍手起ル〕

○調查機關ニ關スル費用ヲ追加豫算トシテ、諸君ノ御協賛ヲ得タイノデアル、是ハ他ノ先進國ノ例ニ照シテ見マシテモ、其國各、狀態ヲ異ニ致シテ居リマススケレドモ、其國ノ富ノ程度、其國ノ國民ノ負擔力、種々ナル點ヨリ考察致シテ、日本ノ教育費ト云フモノハ、餘程整理致スベキ餘地ハアリハセヌカト考ヘル、殊ニ教育費ノ整理ト云フ如キ事ハ、未ダ會テ致シタコトナク、唯ダ増加スル一方デアル、是ハ到底國家ノ爲メニ取ラザル所ト考ヘマスカラ、近日此整理ニ關スル費用ヲ請求致シ、幸ニ御協賛ヲ得マシタナラバ、成ベク速ニ著手ラシテ、十分ナル教育費ノ整理ヲシ、節約スベキモノハ節約シテ、増加スベキモノハ増加スルノ方針ヲ行キタイト考ヘマス、大體政府ノ所見ヲ述ベテ、唯今ノ御質問ノ御答ト致シマス

○議長(與繁三郎君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ砂田重政君外二名提出、小學校教員俸給國庫負擔額増加ニ關スル建議案、外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ 日程第五、第六ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題ニ供シマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ一括シテ議題ニ供シマス、日程第五函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案、日程第六大正二年法律第九號中改正法律案ヲ一括シテ、第一讀會ノ續ヲ開キマス 委員長萩亮君

第五 函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 大正二年法律第九號中改正法律案

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一函館控訴院ノ移轉ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年二月三日

産ノ方面ヲ觀察シマスルト、往年ニ幾十倍シテ、今日デハ無慮六億二千餘萬ヲ算シ、水陸ノ生産 其位置ヲ轉倒シ、水産ハ現今デハ全生産ノ約六分ノ一ニ過ギマセヌ、而シテ札幌方面ハ總生産額ノ半ヲ占メ、函館方面ノ六倍ニ及ビ、釧路旭川方面共ニ、函館方面ノ二倍以上ニ至ラデ居ルノデアリマス、更ニ之ヲ銀行會社ノ資本金額、銀行ノ出入金貸付金、郵便貯金等ノ數額ニ見マスルモ、將又貿易船ノ出入、外國貿易ノ價格ニ徴スルモ、全道經濟ノ今日ノ中心ハ、札幌方面ニ移動シテ居ルコトハ、明確ナ事實デアリマス、殊ニ控訴院ニ直接關係アル此事件數ニ見マスルニ、檢事ノ受理件數、地方裁判所ノ一審事件、是ハ民刑共ニ其數函館管内ハ全道ノ漸ク五分ノ一乃至七分ノ一ニ過ギス、而シテ札幌管内ハ函館管内ニ二倍シ、旭川釧路共ニ函館ノ上ニ出デ、或ハ之ニ匹敵スルノ狀態デアリマス、司法權運用上ノ便益ニ徴センカ、札幌ハ中央ニ位シ、左右ニ小樽室蘭ノ二大港ヲ控ヘ、軍事以外ノ各中央官衙ノ所在地デアリマス、カラ、控訴院ヲ札幌ニ移轉スルハ、一般訴訟人ノ爲メニ其便益蓋シ抄ラスト信ジマス、之ヲ要シマスルニ以上申上デマシタ地理、交通、人口、生産、經濟、司法事件ノ件數、執務上ノ便益ヨリシマシテ、札幌ハ現今北海道ノ中樞デアツテ、控訴院ノ所在地トシテ函館ニ優ルコト數等デアルコトハ、何人モ判リ易イ事理デアラウト考ヘマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、委員會ハ慎重審議ヲ重ネマシタ、殊ニ本件ニ就キテ發言セラレ、熱心ナル質問ヲ重ネラマシタ、委員會ノ多數ハ政府提案ノ理由ヲ相當ナリト信ジマシタ、之ヲ可決シタノデアリマス、外一件大正二年法律第九號中改正法律案ハ、控訴院ヲ函館ヨリ札幌ニ移ス結果、裁判所管轄區域表ヲ改正スル法律案デアリマシテ、是ハ全ク其結果ニ過ギマセヌノデアリマス、以上委員會ノ大要ヲ御報告致シマシタガ、以上陳述致シマシタル理由デアリマスカラ、尙ホ之ニ關シマスル少數意見ト云フ譯デアリマセヌカ、免ニ角此移轉ニ反對セラル、方ガ、或ハ此壇上ニ於テ反對意見ヲ陳述セラレヤウト考ヘマスカラ、本員ハ其反對意見ノ御紹介ハ之ヲ略シマス、滿場諸君、速ニ本案ヲ可決セラレンコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 黒金泰義君

〔黒金泰義君登壇、拍手起ル〕

○黒金泰義君 唯今議題ニナツテ居リマスル函館控訴院移轉ノ法律案ニ對シテハ、遺憾ナガラ反對ノ意見ヲ持テ居ル者デアリマス、其反對ノ理由ヲ申述べテ諸君ノ御賛同ヲ得タイト存ジマス、本案ニ對シテ政府ノ移轉ノ理由ヲ見マスルト、第一ハ交通上ノ關係ニ基イテ居リマス、北海道

ハ開拓使設置以來五十年ニナリマシタ爲メニ、北海道ノ内容ハ全ク一變シテ居ル、殊ニ交通上ニ於テハ、以前ハ汽車モ無クレバ道路モ無キ、全ク舟楫ノ便ニ依ル外ナカッタ時デアッタカラ、其當時一大港タル函館ニ置イタノデアル、然ルニ今日ハ北海道ノ内部ニ於テハ汽車ガ自由ニ開ケ、且又道路ハ今日殆ド完全ノ状態ニナリテ居ル、果シテ然ラバ函館ノ如キ一隅ニ偏シタル場所ニ、北海道並ニ樺太ヲ管轄スル控訴院ヲ置クト云フコトハ、如何ニモ一隅ニ偏シタル居ル、不便デアルト云フコトデアリマス、併ナガラ成程北海道ノ開拓ハ五十年後ノ今日、以前ト比較スルコトノ出来ナイコトハ、申上ゲルマデモナイケレドモ、交通上ノ發達ハ、土地ノ距離ヲ近メマシタ關係上、今日函館ニ置イテモ何等不便ヲ來サナイ、以前ノ如キ不便ハ、交通上ノ發達ノ爲メニ輕少スルコトハ申スマデモナイ、隨テ此點ニ於テハ、政府ノ見ル所ハ聊カ違テ居リハセヌカト思フノデアリマス、又函館ハ今日ハ全ク北海道ノ中心ヲ去リテ居ル、當時函館控訴院ヲ置カレタノハ明治十四年デアラテ、其當時ニ於テハ、函館ハ如何ニモ北海道ノ首都デアッタカラ、此所ニ置イタノデアルケレドモ、今日ハ北海道ノ開拓ガ發達ノ結果、全ク北海道ノ中心ヲ去リテ居ル、其中心ハ札幌デアルト云フ政府ノ意見デアリマス、併ナガラハ恐ラク間違テ居リマス、成程政府ガ吾ニ提出致シマシタノ如キ材料ニ依リマス、如何ニモ函館ハ其中心デナイヤウデアリマス、單ニ政府ノ見ル所ハ、渡島半島ヲ以テ北海道ノ全道ノ生産力、若クハ金融機關ノ状態ト比較シテ居ルノデアリマス、誠ニ今日ノ函館ノ有様ヲ申上ゲレバ、人口ニ於テハ十四万ニナリテ居リマス、北海道ニ於テ十四万ノ人口ヲ有スル都會ハアリマセヌ、又申上ゲルマデモナク函館ハ五港ノ一デアリマス、船舶ノ出入、金融ノ状態ニ於テモ、北海道ニ他ニ及ブモノハアリマセヌ、北海道ノ全道ヲ通ジ、渡島半島ヲ除イテ、生産額ノ比較、或ハ金融状態ノ比較、若クハ其他ノ商港ヲ集メテ、函館港ノ一ヲ以テ船舶ノ出入ヲ論ズルガ如キニ至ラハ、是ハ見ヤウノ甚ダ間違テ居ルモノト謂ハナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、今日ハ尙金融状態ニ於テモ、船舶ノ出入ニ於テモ、又人口ノ上ニ於テモ、函館ハ依然トシテ北海道ヲ左右スベキ所ノ、最も重要ナル所ノ土地デアルト云フコトハ、申スマデモナイ事デアリマス、又政府ノ移轉ノ理由トシテ、控訴院ノ建物ハ全ク狹隘ア、事務ヲ執ルコトガ出来ナイト云フコトガ二ツニナリテ居リマス、併ナガラ是モ政府ノ提出セラレタル所ノ材料、若クハ私共ノ取調ベタル所ノ材料ニ依リマシテモ、近年ニ於テ非常ニ控訴事件ノ殖エタト云フ、實證ヲ認メルコトガ出来ヌノデアリマス、最近四五年若クハ其以上ノモノヲ比較致シマシテ、近年ニ於テ著シク増加シテ、之ガ爲メニ控訴院ノ建物ガ狹

隘ニナリタト云フ實蹟ヲ認メルコトハ出来ヌノデアリマス、又政府ニ於テキマシテハ、札幌ニ於テハ諸官衙ノ中心デアル、隨テ諸官衙トノ關係上移スガ必要ト言ヒマスケレドモ、是モ亦其理由ヲ認メルコトガ出来ヌノデアリマス、成程札幌ハ申スマデモナク、諸官衙ノ集合シテ居ル所デアリマス、諸官衙ト控訴院檢察局トノ關係ト云フモノハ、左程必要ナモノデアリマセヌ、單ニ必要ノモノハ道廳ノ警察部ト檢察長トノ關係デアラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ成程離レテ居ルヨリハ一箇所ニ在ッ方ガ、事務ヲ執ル上ニ於テ便利デアリマセウケレドモ、是モ必スシモ一箇所デナクチヤナラヌト云フ理由ハ無イト思ヒマス、何故ナラバ内地ニ於テキマシテ、試ニ宮城ニテモ、宮城控訴院ハ宮城縣廳ト同一ノ所ニ在ルカラ都合ハ宜シイ、併ナガラ山形ト云ヒ、秋田ト云ヒ、青森ト云ヒ、巖手ト云ヒ、皆ナ離レテ居ル、離レテ居ルモノ、何等警察事務ノ上ニ於テハ都合ヲ生ゼヌノデアル、隨テ必スシモ一箇所デナクチヤナラヌト云フ理由ハ無イト存ジマス、以上ノ政府ノ移轉スベキ理由ヲ綜合シテ見マシテモ、甚ダ私ハ移轉スベキ理由ガ乏シイモノト存ジマス、殊ニ此問題ハ地方ノ上ニ於テ、如何ナル關係ヲ持テ居ルカト申シマスレバ、北海道民トシテ此移轉ヲ希望スル者ハ、殆ド札幌附近ノ者カ、若クハ其一部ノ人間ノ希望ニ過ギナイノデアリマス、昨年既ニ此問題ガ議會ノ問題ニナリマシタ當時、旭川ノ町長ガ同ジク反對ノ意見ヲ有シテ居ル者デアリマス、是ガ石狩ノ北方天鹽、北見、十勝、釧路、根室、此諸國ノ町村長ニ向ッテ本案ニ對スル希望ヲ問合セマシタル所ガ、各町村長ガ總テ今日ハ此移轉ヲ希望ヲ有セズト云フ所ハ、反對ノ意見ヲ回答致シタノデアリマス(「ウー」ト呼フ者アリ)申上ゲルマデモナク札幌附近ハ都合ハ宜シウゴザイマセウ、併ナガラ北海道全道ト致シマシテ、斯ノ如キ反對希望ガアルト云フコトハ明確ナル事實デアリマス、殊ニ今回此問題ガ起リマシテ、北海道ノ地方裁判所ニ屬スル各辯護士會ハ、札幌地方裁判所ヲ除ク外、全部本案ニ對スル反對ノ意見ヲ發表致シテ居ルノデアリマス、此狀況カラ考ヘマシテモ、本案ハ決シテ地方ノ希望ニ副フモノデアルモノ、思ハレナイノデアリマス、殊ニ本年度ノ豫算ノ如キハ十五億以上モ國民ノ極メテ苦痛ナル所ノ負擔ヲセニヤナラヌノデアリマスカラ、斯ノ如キ不急ナル所ノ問題ハ、暫ク反對セラレンコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 高見之通君

○高見之通君 只今黒金君ヨリ、本案ニ對シ反對ノ御意見ガ出マシタノデアリマス、吾々ハ此案ヲ賛成スルノデアリマス、賛成ノ理由ハ只今委員長ヨリ詳シク申上ゲタコトニ就テ、殆ド盡キテ居ルノデアリマス、此案ノ起タノ今日ニ始ッタノデアリマセズシテ、數年以來ノ宿題デアッタノデアリマス、當局ハ之ニ就テハ、十分三道民ノ意嚮モ調ベテアルト云フコトヲ聞イテ居リマスルカラシテ、必ズシモ道民全般ガ、之ニ反對シテ居ルハ想像サレナイノデアリマス、又此案ノ正シイカ否ヤ決スルニ就テハ、唯ダ一ツノ標準ハ、是ガ設置サレタル歴史ヲ考ヘテ見テ、今ヲ去ル四十二年以前ト今日ノ北海道ノ状態ヲ比較シテ見マシタナラバ、直チニ其判斷下スコトガ出来ルト思フノデアリマス、成程黒金君ノ御説ノ如ク、函館ノ四十年前以前ノ當時ニ願ヒテ、今日ハ北海道ノ連絡ハ非常ニ便利ニナリタト云フコトハ、是ハ爭フ必要ハナイガ、サリナガラ現在ノ北海道ノ地圖ヲ一タビ達觀シテ、其便利ノ中心ハ何所ニアルカト云ウタナラバ、ソレハ札幌ニアルト云フコトハ何人モ爭フコトハ出来ナイグラウト思ヒマス、又今後十年若クハ二十年ノ將來ヲ考ヘテ見マシテモ、現在ノ北海道ノ中心ハ札幌ニ在ッテ、其便利ノ關係モ札幌ヲ中心トシテアルベキモノダト云フ、推定ヲ覆スベキモ理由ヲ認メナイ、且ツ最近ノ事件ノ關係ヲ見マシタル札幌及其附近ノ旭川方面ニ於テハ、函館ノ事件數ノ數倍ニ達シテ居ル少クトモ三倍ニ達シテ居ルト云フヤウナ狀況ヲ考ヘテ見マシテモ、事件ノ關係カラ見マシテモ、之ヲ札幌ニ移スト云フコトハ、相當ノ理由ガアルト信ジマス、要スルニ政治ノ要道ハ適材ヲ適處ニ置ク、同時ニ又適物ヲ適處ニ置クト云フコトハ最も大切ナ事デアリマスカラ、殊ニ昨年ノ議會ニ於テ、北海道ノ財政上ニ就テ非常ナル便利ヲ與ヘラレテ居ル今日ニ於テ、此機運ニ副ウテ、北海道ニ於ケル所ノ法律ノ系統ヲモ其中心ニ置キ、適物ヲ適處ニ置クト云フコトハ、最も時宜ヲ得タル案ナリト信ジ、此案ニ賛成スル次第デアリマス、仍テ滿場ノ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 他ニ討論ノ通告者ガアリマセヌカラ採決ヲ致シマス、本案ニ就テ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決シマス、別ニ發議モアリマセヌカラ、第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

〔反對ノ議論ガアルト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 起立ニ問ヒマス第二讀會ヲ開クベシト云フコトニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

〔賛成〕多數「少數」大多數「ト呼フ者アリ」

○議長(與繁三郎君) 多數ト認メマス、多數ニ依リ第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○岩崎勳君 日程第五及第六ノ兩案ヲ一括シテ、直チニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕「下呼フ者アリ」
○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス
函館控訴院移轉ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

大正二年法律第九號中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(與繁三郎君) 第三讀會ヲ省略シテ、委員長長報告通リ可決シテ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告通リ、可決確定致シマシタ(拍手起ル)日程第七民事訴訟費用法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス提出者大道寺慶男君

第七 民事訴訟費用法中改正法律案(大道寺慶男君提出) 第一讀會

民事訴訟費用法中改正法律案

第二條第一項中「二錢五厘」ヲ「五錢」ニ改ム

同條第二項中「十錢」ヲ「二十錢」ニ改ム

第三條中「五十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第九條中「五十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第十條中「五十錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第十一條中「五十錢乃至五圓」ヲ「二圓乃至十圓」ニ改ム

第十二條中「二十五錢」ヲ「一圓」ニ改ム

第十三條中「十錢」ヲ「三十錢」ニ改ム

〔贊成〕「下呼フ者アリ」

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ノ聲起ル

○大道寺慶男君 本案提出ノ理由ヲ極ク簡單ニ説明致シマス、此法律ハ御承知ノ如ク民事訴訟法ニ於テ、之ニ干與スル者ノ實費辨償ノ方法ヲ定メテ法律デアリマス、而シテ明治二十三年ニ定メラレ、タノデアリマシテ、三十三年ニ至テ一部ノ改正ヲ加ヘテ居リマスケレドモ、此改正ハ單ニ字句ノ修正ニ止マリマシテ、費額ノ點ニ於テ何等改正ヲ加ヘテ居ラヌデアリマス、即チ明治二十三年其當時ニ於キマシテ、實費ニ相當スル額トシテ定メマシタル費額ヲ以テ、ソ

レカラ後ニ既ニ三十年ヲ經過シテ、時代ハ變化シ、經濟狀態ハ膨脹シテ居リマス今日ニ、此儘之ヲ適用スルト云フガ如キハ、實ニ不自然ノ甚キモノト思フデアリマス、殊ニ此法律ノ中ニ第五條第六條等ニ依リマスル、郵便電信料其他運送料等ハ實費ニ依ル、或ハ執達吏ノ手数料立替金等ハ其規定ニ依ルト云フコトニテ居ルデアリマス、而シテ此郵便電信料等ハ漸次増加サレ、執達吏ノ手数料等ノ規則モ改正サレテ、増額サレテ居ルニ拘ラズ、同ジ法律ノ中ニ定メテ居リマスル所ノ訴訟ノ當事者並ニ證人鑑定人等ニ關シマスル所ノ費用タケハ、所謂二十三年ノ其當時ノ儘デ其儘今日ニ使テ居ルデアリマス、今や官吏ノ増俸ヲ首メ總テノ一般ノ旅費手数料等ニ就キマシテモ、悉ク増額サレテ居ルニ拘ラズ訴訟上人民ニ直接致シマスル所ノ實費ノ辨償額、即チ民事訴訟費用ノ部分タケテ、此儘ニシテ置クト云フコトハナインデアラウト思ヒマス、之ガ爲メ遠方カラ喚出ス所ノ證人等ハ、實際實費ノ半ヲ償フニ足ラナイデアリマス、ソレガ爲メ時々出頭ヲ回避スルヤウナ傾ガアリマス、現在裁判上ニ支障ノ少クナイト云フ事柄ハ法曹ノ一般ニ認メテ居リマス顯著ナル事實デアリマス、近來裁判所ノ取扱振リガ、或ハ常識ニ反スルトカ、世情ニ通ゼナイトカ、色々ノ非難ガアリマス、是等ハ主トシテ裁判官ノ能力問題ニ關係スルコトデアリマス、斯ル舊イ法律ヲ何年期限ヲ經過シテモ、時代ガ變テモ、更ニ更正ヲ加ヘズニ、人民ニ直接スル費用ノ辨償ガ如何ニモ實際ノ今日ノ狀態ト相背馳シテ居リマスヤウナ事柄、其儘使テ居リマスルヤウナ事實ガ、即チ此非難ノ一原因ヲ爲スモノデアリマス、ドウカ司法制度改正ノ一端ト致シマシテ、速ニ時代ニ適應スルヤウニ此法律ヲ改正致シタト云フノガ、本案提出ノ趣旨デアリマス、ドウカ諸君一致ノ御賛同アラシコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔贊成〕「下呼フ者アリ」
○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ノ聲起ル
○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ノ聲起ル
○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ延期ニ決シマシタ、日程第九埋葬法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者松下禎二君

第九 埋葬法案(松下禎二君提出) 第一讀會

埋葬法案

埋葬法

第一條 死體ハ的確ナル屍體アルニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲ爲スコトヲ得ス

第二條 死屍ヲ埋葬又ハ火葬セムトスル者ハ屍體檢案書及醫師ノ死亡診斷書ヲ市區町村長ニ提出シ其ノ認許證ヲ受クヘシ但シ改置セムトスルトキハ所轄警察署ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 墓地及火葬場ノ管理者ハ市區町村長ノ認許證ヲ得タル者ニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲ爲サシムルコトヲ得ス又警察署ノ許可證ヲ得タル者ニ非サレハ改葬ヲ爲サシムルコトヲ得ス

第四條 墓地及火葬場ハ管轄警察署ノ許可シタル區域ニ限ルモノトス

第五條 墓地及火葬場ハ所轄警察署ノ取締ヲ受クヘキモノトス

第六條 葬儀ヲ寺堂若ハ家屋構内又ハ墓地若ハ火葬場以外ノ場所ニ於テ行ハムトスルトキハ所轄警察署ノ許可ヲ受クヘシ

第七條 墓地外ニ碑表ヲ建設セムト欲スル者ハ所轄警察署ノ許可ヲ受クヘシ

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行ノ爲メ必要ナル細則ハ警視總監府縣知事ニ於テ之ヲ定ム

明治十七年太政官布達第二十五號墓地及埋葬取締規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

〔松下禎二君登壇、拍手起ル〕

○松下禎二君 本案ハ第四十三議會ニ提出シタノデアリマス、第四十三議會ハ臨時議會デアリマシタカラ、會期ガ短ク、委員會ヲ開クコト僅ニ二回ニ過ギズシテ、議了ニ至ラズシテ、未了ノ儘デアリマス、タノデアリマス、ソコデ本案ヲ再ビ提出シタヤウナ次第デアリマス、歐米ノ先進國ニ於キマシテモ、死亡檢査官ナルモノヲ特ニ設ケテ、假死者ヲ葬ルガ如キ不祥ノ出來事ヲ未然ニ防イデ居ルノデアリマス、私ハ學理及事實ノ教フル所ニ從ヒマシテ、萬遺漏ナキコトヲ期待シテ、茲ニ本案ヲ再ビ提出シタノデアリマス、大ナル人道問題デアリノミナラス、全ク政黨政派ヲ超越シタル問題デアリマスカラシテ、御審議ノ上、滿場一致御賛同下サラシコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス(拍手起ル)
○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十身元保証ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者上島益三郎君

第十 身元保証ニ關スル法律案(上島益三郎君提出) 第一讀會

身元保証ニ關スル法律案

第一條 引受人、保證人其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハス期限及金額ヲ定メシテ被用者ノ行為ニ因リ使用者ノ受ケタル損害ヲ賠償スルコトヲ約スル身元引受契約ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年間效力ヲ有ス

第二條 不相應ナル長キ期限又ハ契約ノ際ニ於ケル各當事者ノ資力及被用者ノ位置ニ相當セサル巨大ノ金額ハ之ヲ期限及金額ノ定メナキモノト看做ス

第三條 左ノ場合ニ於テ使用者ハ遲滞ナク身元引受人ニ通知スヘシ若此ノ通知ヲ怠リタルトキハ其ノ以後ニ於ケル被用者ノ行為ニ付身元引受人ニ對スル賠償請求權ヲ失フ

一 被用者ニ身元引受人ノ責任トナルヘキ行為アルコトヲ知リタルトキ

二 被用者ノ任務又ハ任地ヲ變更シ之カ爲身元引受人ノ責任ヲ加重シ又ハ其ノ監督ヲ困難ナラシムルトキ

第四條 身元引受人受前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ將來ニ向テ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得若即時此ノ申入ヲ爲ササルトキハ解約ノ權利ヲ失フ

第五條 本法ノ規定ニ反スル契約條項ハ總テ無効トス

○上島益三郎君 簡單ニ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、身元保証ト云フコトハ、人ヲ採用スルニ方デ、必ズサウ云フ保證人ヲ立テシメテ、保證書ヲ入レサスト云フコトハ我國ノ慣例デアリマシテ、總テ相當ノ地位ニ居ル人ハ、二人ヤ三人ノ爲メニ、此身元保証ヲシナイ人ハ無イト云フ程、總テ地方ニ行ハレテ居ル慣例デアリマス、此身元保証ハ、其例文トシテ期限ノ定ハガイザマセヌ、ダカラシテ保證シテカラ後ニ、五十年經タウガ、六十年經タウガ、失張保證ノ責任ハ存在スルノデアリマス、此身元保証ニハ金額ノ制限ガゴザイマセヌカラシテ五十萬圓デモ、百萬圓デモ、失張辨償ノ責任ガアルノデアリマス、元來見ズ知ラズノ人ヲ雇入レテ、之ニ相當ノ仕事ヲ任スノデアリマスカラ、採用スル初ニ、當テ保證人ヲ

立テト云フコトハ、洵ニ是ハ至當ナ要求デゴザイマスケレドモ、既ニ之ヲ採用致シマシテ、五年モ十年モノ間親シク自分ノ手許ニ置イテ之ヲ使用シテ、十二分ニ其雇人ノ性格ヲ知り抜キ、其ノ人ノ氣質ヲ見抜イテ、サウシテ天下何人ヨリモ、最モ能ク如何ナル信用ヲ置イテ宜イカ、又如何ナル仕事ヲ委シテ宜イカト云フ事ヲバ、十分ニ知抜イテ居ル所ノ此雇主ト云フモノハ、ソレヨリ以後ハ宜シク自分ノ眼識ニ依ッテ、自分ノ責任ヲ以テ、之ヲ使用スルノガ當然デアリマシテ、萬一雇人ガ任務ニ背イテ雇主ニ迷惑ヲ掛ケマシテモ、是ハ雇主ガ自分ガ眼識ヲ誤ルカ、然ラズンバ自分ノ注意監督ガ足ラナカッタ爲メニ、斯様ナ出來事ガ生ジタノデアリマスカラ、其責任ハ自分ガ著ルノガ當然デアリマス、數年前ニ差入レタ所ノ古イ身元引受書ニ依ッテ、飽迄モ此身元引受人ヲ追窮スルト云フガ如キハ、是ハ身元引受ト云フコトノ精神ニ悖ルノミナラズ、其結果ハ甚ダ正義ニ反キ、公正ヲ失フヤウニナツテ參リマス(同感)ト呼フ者アリ、斯ノ如キ事例ハ、多々此裁判上ニ現レルノデアリマシテ、何年モ前、十年モ二十年モ前ノ身元引受書ニ依ッテ、損害賠償ノ請求ヲスルト云フガ如キ悲惨ナル出來事ハ、比々裁判上ニ於テ吾等ノ實見スル所デアリマス、デ今日此世人一般ガ身元引受ト云フモノ、斯ノ如キ恐シイ期限ノ定ガナク、金額ノ定ガナイ所ノ、絶大無限ノ責任ヲ生ズルモノデアルト云フコトヲ、世人ハ十分ニ辨ヘナイ、デアリマスカラシテ、輕々ニ判ヲ捺シテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ裁判ガ段々公ケニナルニ從テ、身元保證ト云フモノ、首ヲ失フト同然デアルト云フ恐ロシイ感ジガ出タ場合ニハ、恐ラクハ身元引受ヲスル人ハ段々減シ來マシテ、雇主ハ却テ之ガ爲メニ迷惑ヲシテ見ズ知ズノ人ヲ雇入レテ安心シテ仕事ヲサセルコトガ出來ナクナリマス、デアリマスカラ此際ニ適當ノ立法手段ヲ以テ、身元保証ノ制度ヲ確立シテ此身元保証ノ效力ヲ必要ナル程度ニ止メ、必要ナル時期ニ止メテ、其必要ナル程度ト、時期ノ範圍内デ身元保証人ニ全責任ヲ負ハシメテ、必要一タビ去レバ、此身元保証ノ效力ヲ消滅セシメルト云フコトハ、身元保証人ヲ保護スル爲メ、雇主及雇人ノ爲メニ雇傭契約ヲ容易ナラシムル所ノ、最モ必要ナル立法事業デアルト考ヘマシテ、爰ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、詳細ノ事ハ省略致シマシテ、偏ニ諸君ノ慎重ナル御審議ヲランコトヲ謹デ希望致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十一、治安警察法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、此分ハ提出者一宮房治郎君

第十一 治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提出) 第一讀會

治安警察法中改正法律案

第五條 第二項中「女子及ヲ削ル」

一宮房治郎君 只今議題ニナリマシタ治安警察法中ノ改正ハ世界ノ大勢、時運ノ進化ニ鑑ミマシテ、警察法中第五條第二項、其中カラ致シマシテ「女子及」ト云フ三字ヲ削リテ、婦人ニ對シテモ政談集會ニ會合ヲ致サセ、又其發起人タルノ自由ヲ與ヘタイト云フノデアリマス、極メテ簡單ナル案デアリマスカラ、簡單ニ説明ノ理由ヲ申述ベタイト思フノデアリマス、諸君ガ御承知ノ如ク男女ノ性的區別ニ依リマシテ、差別的待遇ヲ與フルト云フコトハ、殆ド正義ノ許スベカラザル所デアルノデアリマス、併シ從來ニ於キマシテハ、事實上ニ於テ、女子ハ智識ノ點ニ於テ比較的低級デアリマシタ、又經濟的ニ男子ニ從屬致シマシテ居リマシタガ爲メニ社會的ニ劣等ナル待遇ヲ受ケテ居ッタト云フコトガ、悲ムベキ所ノ事實デアルノデアリマス、併シ最近教育ノ發達ニ依リマシテ、女子ノ智識モ非常ニ向上シテ參タノデアリマス、或ハ思想上ニ於テ、或ハ其他ノ職業ニ於テ、婦人ノ才能ガ今日ニ於テハ、男子ニ比シテ全ク遜色ノナイト云フコトハ、事實ノ明ニ之ヲ證明致シテ居ル所デアリマス(拍手起ル)否ナ單ニ劣等ニ居ナイノミナラズ、男子ニ比較致シマシテ更ニ大ニ優等ニ居ル所ハ、幾多ノ美點ヲ吾等ハ發見スルコトガ出來ルノデアリマス、斯ノ如ク智識ノ向上ハ、其婦人ノ覺醒トガ男子ニ對シマシテ當然機會均等ノ要求ヲ爲スト云フコトハ、自然ノ趨勢デアルノデアリマス、(ヒヤ)「殊ニ女子ヲハ大ニ覺醒セシメタ最近ノ著シイ事例ガアルノデアリマス」ソレハ近來社會ノ進化ニ伴ヒマシテ、社會組織ガ益々複雑トナツテ參タノデアリマス、爲ニ婦人ノ社會組織ガ益々複雑トナツテ參タノデアリマス、婦人ハ經濟的ニ男子ヨリ獨立致スヤウナル時世トナツテ參タノデアリマス、此婦人ノ智識ノ向上ト、又經濟的ノ獨立ト云フモノガ、男子ニ對シテ機會均等ノ請求——要求ヲ爲スヤウニナツテ來ルト云フコトハ、是ハ當然ノ結論デアルノデアリマス、果シテ近世紀ニ至リマシテ、歐米諸國ニ於テハ男子ト平等ナル所ノ待遇ヲ要求スル所ノ、種々ナル運動ガ發生シテ參タノデアリマス、英國ノ

有名ナル所「パンクハースト」婦人ヲ首メ、參政權運動ト申シマスルモノハ、最近ニ於テ社會主義ノ運動ト共ニ、世界ノ「大恩潮」トナシテ參タノデアリマス、殊ニ歐羅巴ノ戰爭ニ於キマシテハ、各交戰國ニ於テハ、男子ガ國難ニ趨キテ多ク戰場ニ參タノデアリマス、隨テ國民ニ於ケル社會的或ハ政治的機關ニ於テ、多ク婦人ノ力ヲ待タナレバナラヌト云フヤウナ機會ガ參タノデアリマス、此場合ニ、於キマシテハ、社會事業ニ於テ、或ハ政治的ノ働ニ於テ國家ニ貢獻致シタル所ノモノハ、男子ニ比シテ決シテ大ナル遜色ガナシト云フコトヲ、事實上ニ於テ證明致シタルデアリマス、之ガ爲メニ女子ノ社會的地位及政治的地位ト申シマスルモノハ、全ク歐米各國ノ一般ノ承認ヲ經テ參タノデアリマス、歐米諸國ニ於テハ、婦人ノ參政權ト申シマスルモノハ既ニ國民的ノ承認ヲ經テ又巴里會議ニ於テ締結致サレタル所ノ國際聯盟ノ中ニ於テモ、婦人ノ行政的地位ト云フモノハ、明カニ是ガ認メラレテ居ルデアリマス、即チ今日婦人ヲ家庭ノ從屬的地位ヨリ解放致シマシテ、社會的ニモ、又政治的ニモ國家ニ對シテ貢獻セシメルヤウニ致サナレバナラヌト云フコトハ、全ク世界的大勢デアルト私ハ思フデアリマス、(拍手起ル)我國ノ婦人ノ地位ガ、歐米諸國ノ婦人ノ地位ト必ズシテ同一デアルトハ私ハ申シマセヌケレドモ、近來ニ於ケル我國女子教育ノ發達ト云フモノハ、大ニ婦人ノ發達ヲ促シテ來テ參タノデアリマス、又我國ノ時勢ノ進歩ト申シマスモノハ、漸次婦人ノ覺醒ヲ促シテ、是等ノ婦人ヲ社會的ニ大ニ努力セシムベキ所ノ氣運ヲ作テ參タノデアリマス、此際ニ於テ我國ニ於キマシテハ、世界ノ大勢ニ鑑ミテ婦人ニ對シテ政治的ノ了解ヲ與ヘテ將來更ニ大ニ國家ノ事業、及社會ノ事業ニ努力セシメルガ爲メニ、婦人ヲ社會政治的ノ了解ヲ得セシメルト云フコトハ、正ニ時勢ノ要求デアルト私ハ思フデアリマス、(拍手起ル)此意味ニ於キマシテ、私ハ治安警察法ノ第五條第二項ヲ改正致シマシテ、先ヅ婦人ニ對シテ政府の了解ニ與ヘ、將來大ニ其政治的才能ヲ具備セシメル爲メニ、婦人ノ政談集會ニ會同スルコトヲ禁止シ、並ニ其發起人タル所ノ自由ヲ束縛致シテ居ルモノト云フコトハ、此規定ヲ改正致シタルト云フモノガ吾々ノ提案ノ要旨デアラリマス、又他ノ方面ヨリ考ヘテ見マスト云フト、立憲治下ノ現代生活ト申シマスモノハ、政治ト國民トノ間ニ、密接離ルベカラザル所ノ關係ヲ作テ行テ居ルモノデアリマス、獨立ノ生計ヲ營ム所ノ婦人ガ、男子ト同様ニ有ユル點ニ於テ、政治的ノ了解ヲ必要ト致スノミナラズ、家庭ノ婦人ト雖モ其日常生活ニ於テ、朝カラ晩マデ政治及法律ト云フモノト關係ヲ離レルコトハ出來ナイデアリマス、或米國ノ「サウラゼット」ノ唱ヘタ如ク、例ヘバ瓦斯ヲ捻ル、電燈ヲ點ケル、此ニ民衆ノ公益ト

利害關係ヲ持テ參ルノデアリマス、電車ニ乗テ商店ニ買物ニ行ク、此ニ消費稅及通行稅等ノ關係ガ結バレテ行クノデアリマス、溝ノ掃除ヲ致シテモ、或ハ塵箱ヲ掃除致シテモ、衛生ノ規定、或ハ衛生ノ行政ト離ルベカラザル所ノ關係ガ此ニ生ジテ參ルノデアリマス、故ニ婦人ヲ社會生活ヲ徹底セシメ、又家庭ヲ通ジテ社會ヲ改造セシメルガ爲メニモ婦人ニ政治ヲ了解セシメルト云フコトハ正ニ時代ノ要求デアルト私ハ思フデアリマス、(拍手起ル)殊ニ立憲治下ニ於テ妻トシテ其夫ヲ助ケル、夫ヲシテ立憲的國民タル生活ヲ徹底セシメルガ爲メニモ、又母トシテ其子女ヲ養成シテ、立憲國民タル所ノ資格ヲ教育致シマスルガ爲メニモ、立憲國ノ婦人ニシテ政治的ノ了解ナクシテハ、良妻賢母タルコトハ到底出來ナイト私ハ信ズルデアリマス、(拍手)ソレ故ニ目覺メヨト呼フ者アリ)又他ノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、我國ニ於キマシテハ、政治政談ヲ滿載致シテ居ル所ノ雜誌新聞ト云フモノガ、各家庭ニ入テ居ルノデアリマス、家庭ノ婦人、家庭ノ子女ガ之ヲ讀ムコトヲ、如何ニ禁止スルコトガ出來マスルカ、又貴衆兩院議員ニ於テハ、態々傍聽席ヲ設ケテ婦人ノ傍聽ヲ許シテ居ルノデアリマス、然ルニ政談集會ニ會合スルコトノミヲ禁止スルト云フコトハ、全ク無益ナル規定デアルト思フデアリマス、(拍手)「モウソレデ解ッ」ト呼フ者アリ)此意味ニ於テ吾々ハ治安警察法ノ第五條中ノ第二項ヲ改正シマシテ、婦人ヲ從來ノ家庭的束縛カラ解イテ、立憲治下ノ良妻賢母ヲ養成スルガ爲メニ、又立憲治下ノ完全ナル婦人ヲ造ルガ爲メニ、此改正ヲ行フト云フコトハ、正ニ時勢ノ要求デアルト思フデアリマス、(同感)ト呼フ者アリ)此意味ニ於テ本改正案ヲ提出致シマシテ次第デアリマスカラシテ、願クバ諸君モ滿場一致ヲ以テ、之ニ御賛成アラントコトヲ希望致ス次第デアリマス、(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ濱田國松君外一名提出、治安警察法中改正法律案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長 與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長 與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第十二、治安警察法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、此分ハ提出者小山松壽君

第十二 治安警察法中改正法律案(小山松壽君外三名提出) 第一讀會

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項中「女子及ヲ創ル」第十七條中「シ又ハ第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若ハ煽動ヲ創ル」

〔小山松壽君登壇、拍手起ル〕

○小山松壽君 本案提出趣旨ノ大要ヲ申述ベマス、現行治安警察法ハ、文化ノ程度未ダ幼稚ナル、二十有餘年前ノ制定立法デアリマスルガ故ニ、現代ノ趨勢ニ順應セザルコトハ申スヲ要セヌト考ヘマス、而シテ四圍ノ事情ハ現行法ノ如キ本法律ヲ改正スベキコトヲ根本ニ必要ト考ヘマスルガ、先ヅ差當テ差難キ「二ノ點」ヲ取敢ヘズ改正スルノ必要ヲ認メマシテ、爰ニ提案シタル次第デアリマス、乃チ一ハ同法中ノ第十七條ノ一部改正デアリマス、第二ハ第五條中ノ一部改正デアリマス、第一ノ點ハ我國ガ平和議ヲ書ノ御批准ヲ經、國際聯盟ニ加ハリ、勞働法規ヲ認メマシテ、而シテ既ニ昨午政府ガ資本家勞働者ノ各代表者ヲ會議ニ列席セシメマシテ其決議ニ參與シ、近クハ又農業勞働ニ關スル會議ニ、同ジク代表者ヲ參加セシムルノ順序ニナゲ居リマス、斯ノ如クニシテ既ニ勞働ノ國際化ヲ認メ、我國ガ對內的法規ノ改正ヲ致スコトノ必要ニ迫ラレテ居ルコトハ、當然ノ歸著ト考ヘマス、之ヲ内ニ致シマシテハ歐洲戰爭ニ參加致シタル交戰國ガ、戰後國力ノ恢復ニ銳意努力シ、我國ガ又之ニ策應スルノ途ヲ立テナレバナラヌコトハ、平和一年ノ議會ニ於テ、原總理大臣モ此點ニ就テハ高唱致サレテ居リマス、尙ホ現內閣ノ閣僚當局諸公ハ、戰後國力ノ進展ヲ圖ルガ爲メニ、事業ノ合同統一整理ニ就テ力説セラレテ居リマス、斯ノ如ク考ヘマスレバ、其結果ハ資本ノ増加トナリ、事業ノ擴大トナリ、茲ニ複雜ナル社會問題ヲ起スト云フコトハ疑ノナイ事デアリマス、而モ一面ニ於テハ我國人口激増ノ結果ヨリ致シマシテ、商工立國ノ策ヲ執ラネバナラント云フコトハ、又定論ノアル事デアリマス、政友會ノ四大政綱ノ一タル産業ノ發展ト云フコトヲ唱ヘラレルモノ、蓋シ此意ニ副ハウトスルノ心デアルト私ハ考ヘマス、斯ク觀來リマスレバ、國防ノ充實ニ、兵器ノ製造ニ、交通整備ニ、現業ニ、何レモ理解アル自覺ノアル上ニ權利ヲ伸張シテ、國家社會奉仕ノ念ヲ強カラシムルコト云フコトデナレバナラヌト考ヘル譯デアリマス、(拍手起ル)本議會ノ劈頭ニ於テ國務大臣ニ對スル質疑應答中、床次內務大臣ハ勞働問題ニ對スル所見ヲ質サレタルニ對シ、現行ノ法規ニ於テ其團體組合等、何等之ヲ阻止シ、若クハ其發達ニ低礙スルト云フヤウナ虞ナシト云フコトデアリマシタガ、是ハ實際ニ於キマシテハ、全ク內務大臣ノ御言明ヲ裏切ルノ事實多クアルト考ヘマス、其狀態ハ恰モ兩足ヲ縛シテ、尙ホ步行自由ナリト言ハレルト同様デアルト考ヘル譯デアリマス、(拍手起ル)下級行

多數署名ニテ、婦人ノ政談結社ノ自由ヲ認メルト云フコトヲ公ニシテ居ラレルノデアリマス、蓋シ惟フニ政友會ノ諸君

ノ中ニ於テモ、大多數ハ既ニ之ヲ認ラレテ居ルコトデアルト
私ハ思フノデアリマス、既ニ現代ノ世界ヲ動カシツ、アル所
ノ時代ノ新シキ思想ガ、此帝國議會ノ内ニモ入テ來テ居
ルト云フコトヲ、私ハ證明スルニ足ルト思フ、而シテ此案ガ
今日各政黨ヨリ提出サレマシテ、殆ド全會一致ヲ以テ、少
クトモ婦人ニ政談ノ自由ヲ與ヘルト云フコトハ、此議會ニ
於テ可決セラレルモノト思フノデアリマス、是ハ一偏ニ婦人
協會ノ諸君ノ運動ノ力ニ依タコト、思フノデアリマス(笑
聲起ル、判ツタ「簡單」ト呼フ者アリ)私ハ……

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……
○松本君平君(續) 是ハ大ナル成功デアルト思ヒマス、一
年ニシテ此偉大ナル事業ガ完成サレルト云フコトハ、非常ナ
大成功デアリマス

〔餘計ナ事ヲ言フナ「簡單々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……

○松本君平君(續) 此所ニモ亦大ナル婦人ノ政治的天
才ノ發露ヲ見ルノデアリマス、又是等ノ人ミガ更ニ一般ノ
努力ヲセラレタラバ、婦人參政ノ問題モ、亦必ズ速ニ解決
セラレル時ガ來ルト思フノデアリマス、或ハ私ノ男子ノ普通
選舉ヨリモ、婦人ノ參政權ノ方ガ、早ク來ハシナイカト思フ
ノデアリマス

○議長(與繁三郎君) 松本君ニ注意致シマスガ、法律案
ノ趣旨ノ説明ニ止メラレンコトヲ望ミマス

○松本君平君(續) 私ハ此案ノ提出者トシテ、滿腔ノ希
望ヲ持テ、滿腔ノ誠意ヲ以テ、滿場ノ諸君ニ、此案ノ大多
數ヲ以テ通過セラレンコトヲ希望シテ此壇ヲ降ルノデアリマ
ス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ前ノ日程ノ通り、濱田國松君外一
名提出ノ治安警察法中改正法律案外三件ノ委員ニ、併
セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々「聲起ル」〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議
ノ如ク決シマシタ——日程第十四、決議案ヲ議題ト致シマ
ス——提出者中野正剛君

決議案 對露政策ニ關スル件(中野正剛君提出)

決議案

決議

對露不干渉ノ趣旨ヲ明白ニシ通商共益ノ基礎ヲ確立
ス(シ)

〔中野正剛君登壇、拍手起ル〕

○中野正剛君 諸君、本員ハ「衆議院ハ政府ノ對露不干
渉ノ趣旨明白ヲ缺キ通商共益ノ基礎ヲ確立スル能ハザル
モノト認ム」ト云フ決議案ヲ提出致シマシテ、滿場諸君ノ御
質問ヲ仰ギタイノデアリマス、本案ハ諸君御承知ノ通りニ
最初對露不干渉ノ趣旨ヲ明白ニシ、通商共益ノ基礎ヲ確
立スベシト云フ案デアリマシテ、衆議院ノ對露政策ニ對スル
態度ヲ、中外ニ明白ニスルト云フコトガ精神デアツテ、一政
黨一内閣ヲ彈劾スルコトハ、其主タル意思デハナカッタノデ
アリマス、併ナガラ決議案ノ形式上、唯今申シテ通りノ案トナ
タノデアリマス、本案通過ノ上ハ、衆議院ノ意思ハ對露不
干渉ノ趣旨ヲ明白ニシテ、通商共益ノ基礎ヲ確立スルコト
ガ、日本帝國ノ急務デアルト云フコトヲ明白ニスルベシ
ノデアリマス、我ガ對露政策ハ、今や世界列國環視ノ中ニ
アツテ、慘澹タル醜態ヲ暴露シテ居ルノデアリマス、(拍手)此
醜態ハ假令現任內閣ガ二百八十名ノ與黨ヲ提テ、後ロニ軍
閥元老ノ援護ヲ有スルト雖モ、又假令金テ、成ラザル事ナ
ク、天日ヲ扇ギ返ス云フ平相國ノ威武ヲ逞シウセラレテ
モ、到底蔽フベカラザル現實デアルトノ遺憾トスルノデアリマ
ス(拍手)宜ナク哉堅固自異同ノ辯ヲ弄シテ、反對黨ヲ柳榆
シ翻弄スルコトニ特別ノ腕前ヲ有セラレル原總理大臣モ、
僅ニ他ノ言葉尻ヲ取テ、自己ノ苦キ立場ヲ辯護セントセラ
レルノデアリマス、(拍手)又田中陸軍大臣ハ、前議會ニ於
テ、不肖義一私カニ期スル所アリナラバ、ドウヤラ立憲政
治ノ立場テハ流行ラシイ、時代劇ノ腹切りノ臺詞ニデモア
リサウナ言葉ヲ弄シテ居ラタノデアリマスルガ、本議會ニ
於テ、一たび問題ガ尼港事件以後ノ對西伯利外交ニ及ベ
バ、殆ト生キタ顔モナク、貴族院ニ於キマシテハ、滑稽千萬ニ
モ臣節ヲ完フセシガ爲メニ、決意ヲ翻シテ留任シタナト言
ウテ居ラレルノデアリマス、元來臣節トカ何ト云フコトハ、
國ノ大事ニ當リテ、間違ヘバ、命ヲ捨テル捨テヌノ問題ガア
タ時ノ言葉デアリマス、今日立憲政治ニ於テハ、國務大臣
ハ堂々トシテ其責任ヲ完フスレバ、ソレデ足リルノデアリマ
ス、ソレニ斯ノ如キ言葉ヲ立憲治下ノ議會ニ濫用シ、嘗テ
我國ノ政界ニ流行シタ、衰頹ノ袖ニ隠ル、ト云フナ古キ言
葉ヲ復活シ來ルノ憾ガアツテ、本員切ニ遺憾ニ思フノデアリ
マス、(拍手)最モ活潑ニシテ最モ責任ヲ重ンズベキ「サーベ
ル」ノ手前モ憚ラズ、所謂衰頹ノ袖ニ隠ル、ト云フヤウナ情
ケナキ態度ヲ執ラル、事其事ガ、我ガ對露政策ノ如何ニ不
徹底ニシテ、如何ニ我國ノ立場ヲ困難ナラシメ、如何ニ前途ニ
陰影ヲ投ジテ居ルカラ、事實ノ上ニ於テ證明スルト私ハ思
フノデアリマス、六億ノ大金ヲ使ヒ、數千ノ人命ヲ失ヒ、而シ

テ誰一人此失敗ノ責任ヲ擔フ者無キニ至ッテハ、日本モ實
ニ慘澹タル有様デアルト思ヒマス、過去ハ言ハナイ、然ラバ
現在ヲ將來ニ於テ當局者ガ何カ國民ヲ安心サセルガ如キ約
束ヲ示サル、ナラバ、本員ハ斯ノ如キ議案ヲ提出シナイ、然
ルニ議會開會以來、總理大臣ノ演説、内田外相ノ劈頭ノ
演説ヲ何遍讀返シテモ、少シモ此對露政策ニ對シテハ、政
府ノ方針ナルモノガ明白トナッテ居ナイノデアリマス、(拍手)
原首相ノ演説ハ頗ル簡單ニシテ要領ヲ得ナカッタ、内田外
相ノ演説ハ之ニ反シテ婉々數千言、帝國ノ外交ニ關係ナキ
世界ノ大勢ヲ説カレテ居ルノデアリマスルガ、其演説タルヤ
長イバカリデ、恰モ國際聯盟事務局ノ書記生ノ報告ヲ繁ギ
合セタヤウナモノデアリマス、帝國ノ外交ニ何所ニ精神ガアル
カ、數千言ヲ貫ク一貫セル政府ノ人格ヲ表明シ、我ガ帝國ノ
立場ヲ明白ニスル精神ナルモノガ、寸毫モ無カッタコトヲ私
ハ遺憾トスル、政策ノ根柢ニ觸レル要點ガ絶無デアルトコト
ヲ私ハ遺憾トスル、(君ニハ分ラヌノ「ト呼フ者アリ」)私ハ
前期議會ニ於テ、尼港事變ニ對スル調査委員會ヲ設置ス
ルノ案ヲ提起致シマシタル時、斯ノ如キ大蹉跌ノ由ツテ來
ル原因ヲ究メザルニ於テハ、此慘劇ハ最後ノ幕デハナクシ
テ、我帝國ヲ襲フベキ數十年ノ悲劇ノ序幕ニナルカモ知レ
ヌト云フコトヲ申シマシタ、不幸ニシテ序幕ヨリ段々進ンデ、
帝國ノ世界ニ於ケル立場ガ、全ク八方總塞ガリノ窮境ニ陷
リツ、アルコトヲ衷心ヨリ遺憾トスルノデアリマス、(拍手)今
日ハ露西亞全國民ヲ對手トシテ、其國民ノ意思ヲ尊重シ、
其飢エタル人ミノ立場ニ同情シテ、經濟的關係ヲ開クコト
ハ人道ノ指所ス所デアリ、窮境ニ立テル帝國外交ヲ一變ス
ルニ就テ、最モ必要ナル要點デアルト信ジマス、併シ露西亞
ニ對スル經濟的關係ヲ開カント欲セズ、先ヅ露西亞ノ內政
ニ不干渉ノ趣旨ヲ明白ニシナケレバナラス、其不干渉ノ趣
旨ハ大臣等ガ辯解ガマシク不干渉云々ヲ口ニスルヨリハ、
先ヅ不干渉ノ實ヲ明白ニスル爲メニ、西伯利ニ於ケル我が
出征軍ヲ撤退スルコトガ、不干渉ノ趣旨ヲ明白ニスル、唯
一ノ手段デアルト私ハ信ズルノデアリマス、(拍手)先日來豫
算委員會ニ於テ、憲政會ノ永井柳太郎君ヨリ政府ニ質問
ヲ發シ、當局者ハ不干渉ヲ説キナガラ、大井司令官ノ如キ
ハ現ニ屢、布告ヲ發シテ露西亞ノ內政ニ、干渉シテ居ルデ
ハナイト云フ趣旨ヲ述ベラレルト、原首相ハ實ニ妙ナ返事ヲ
シテ居ラレル、我駐兵區域ニ於テハ云々ト言ツテ、大井司令
官ハ布告ヲシテ居ルカラ、決シテ干渉デナイト云ツテ居ルケレ
ドモ、現ニ二個師團ノ軍ヲ露西亞ノ領土ニ駐屯セシメ、其
駐屯區域ニ於テ、露西亞人ノ自由ノ態度ヲ許サナイト云フ
ヤウナコトヲ宣言スルコトガ、不干渉ノ趣旨ト悖ルコトハ
明白ナ事デアリマシテ、原首相ノ辯解其物カ最モ巧妙ナ過

言葉ヲ附シテ、而モ露西亞ニ干涉セントスル忌ムベキ政策
表現アルト云フコトヲ、私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、惟
ニ日本ノ政府ト雖モ、國歩四方ニ困難ナル際、露西亞ト經
濟的關係ヲ開クコトハ其希望スル所デアリマセウ、併ナガラ
通商セント欲セバ、不干渉ノ趣旨ヲ明白ニシナケレバナラ
ス、不干渉ノ趣旨ヲ明白ニセント欲セバ、撤兵シナケレバナ
ラ、此撤兵其事ガ日本ノ國際的關係ニ於テ不可能ナルヨリハ
政府ノ内輪ニ於テ、政府ノ面目ニ於テ、又軍閥ノ情實ニ於
テ、其軍閥其政府ヲ背後ヨリ牽制シ掣肘スル元老其他ノ
舊思想家ノ立場カラシテ、不可能ナル故デアルト私ハ信
ズル、(二)支那ニ於ケル駐兵如何ト呼フ者アリ、帝國ノ對露
關係ハ、論理トシテ、又實際政策トシテ、其徹底ヲ期シ難
キニ非ズシテ、政府ノ内部ニ横ハル情實、更ニ政治圈外ニ居
リテ、政治ヲ蹂躪シ左右セントスル元老等ノ立場ニ依リテ、
斯クモ不徹底ナル政策ヲ繼續シテ居ラル、ト私ハ思フノデ
アル、(拍手)撤兵ハ日本帝國ノ爲メニ幸福デアリマスガ、不
幸ニシテ元老私黨ノ立場ト南立シナイノデアアル、日本帝國ノ
利益ヲ顧ミタル私黨元老ノ情實ニ依リテ犧牲ニ供スルコト
ハ、本院ノ認容スベカラザルコトデアルト確信致スノデアリ
マス、内田外相モ嘗テ駐露大使トシテ令名ヲ逞シウセラル
際ニハ、今日ノ如キ不徹底ノ議論ヲサレナカッタ、内田大
臣ハ露西亞革命勃發ノ後、彼地ヲ引揚ゲテ來ル時、哈爾
賓ニ於テ其意見ヲ天下ニ公表シテ居ラル、東京ニ歸リ來
テ後ニ、露西亞ノ「ザール」ノ政府ノ顛覆スル所以ヲ了解シ、
革命ヲ馴致セル大勢其物ヲ是認シ「レニン」ニ對シテモ、
正當ナル解釋ヲ下シテ居ラレタコトヲ私ハ記憶致シテ居
マス、其間内田外相ガ内閣ニ坐ルヤ、情實ニ制セラレテ
己レノ信ズル所ヲ天下ニ明白ニスルコトガ出來ズ、己ノ信
ズル政策ヲ餘儀ナクセラレテ、何所マデモ一身ノ立場ノ爲メ
ニ此帝國ノ外交ヲ窮地ニ導キ行カントスルノハ、國務大臣
トシテ私ハ蓋ツベキ行動デアルト思フ(拍手)殊ニ先日憲政
會ノ望月小太郎君ノ質問ニ對スル内田外相ノ答辭ハ滑
稽至極デアッタ、當時望月君ハ對露通商ノ一日モ忽ニスベ
カラザルコトヲ論ゼラレタガ、内田外相ハ其持論デアル議論
ガ、反對黨ノ代表者ニ依リテ發セラレタル故ニ、故意ニ之
ニ反對センガ爲メ何ト云ハレタカ、露西亞ト通商シヤウトシ
テモ物資ハ無イ、物々交換ヲシヤウトシテモ交通ガ不便デア
ル、取ルニ足ラサル議論デアッタノデ、望月君ハ然ラシテ
怒リ、官吏ハ經濟ヲ知ラズト是ニ於テ罵倒セラレタノデアリ
マス、私ヲシテ言ハシムレバ、官吏ハ程瑣末ノ經濟ヲ知
ラズトモ宜イ、通商貿易ノ實際手段ノ如キハ、之ヲ開放シテ
營利其物ニ敏感ナル實業家其者ノ手ニ委スレバ宜イ、
唯ダ大臣ハ大勢ヲ觀テ、我國ノ對露政策ヲ通商ヲ開始シ得

ベキ方向ニ差向ケルカ、絕對ニ其反對ニ差向ケルカ決定
スレバ宜イノデアアル、内田外相ハ瑣末ナル通商關係ニ於テ、
之ヲ御存ジニナラナクモ恥デハアリマス、國務大臣ト
シテ、活眼ヲ開キテ露西亞ナルモノヲ一瞥セラレバ宜イ
小學校中學校ノ地理書ヲ御覽ニナレバ、ソレダケデモアンナ
愚論ハ立ツモノデアリト私ハ確信スル、露西亞ハ世界ノ七分
ノ一ヲ占メ、歐洲ヨリ亞細亞ニ亘ル「コーマシア」大陸ノ大
部分ヲ占有シ、此ハ寒帶ヨリ南ハ亞熱帶ニ亘リ、豐富ナル
產物ヲ出シ、其人口一億七千萬アリマス、活キタル人間ガ飢
エントスルニ方テハ必ズ勞役スル、其勞役スル天地、アレダケ
廣サデアレバ、太陽ノ照ル所土壤ノ續ク所何等カノ物資ヲ
採出サナイト云フコトハ無イ物々交換ヲ爲サントシテモ露西
亞ニ物資ガ無イ杯ト云フコトハ經濟原論ノ一頁ヲ知ラヌ
ノミナラズ、地理書ノ初歩スラ辨ゼザル愚論デアルト私ハ斷
定致シタイノデアリマス、英米佛モ種々露西亞ノ内政ニ對
シテハ之ヲ關聯シテ自己ノ立場ヲ有シテ居ル、ソレニモ拘
ラズ低價願望シテ去ルコト能ハズ、英國ノ如キハ久シキ間
「レニン」政府ノ使節ト交渉シ、或ハ屢々、纏弄セラレルニ拘
ラズ、露西亞ヲ棄テザル所以ノモノハ、露西亞ニ經濟的價
値ガアルカラデアリマス、露西亞ニ平和來ラザレバ、世界ニ
平和來ラズト云フコトハ英國ガ二年前ニ於テ對露干涉ヲ
止メタ時ノ總理大臣ノ演說デアッタノデアリマス、今ハ同一
ノ言ヲ繰返シテ、私ハ對露經濟關係ニテ順調ニ復セザル
限り、世界ノ經濟ハ安定ナラズ得ズト斷定致スノデアリマス
別シテ露西亞ノ隣ニ國ヲ立ツル我が日本ガ、對露經濟關係
ヲ圓滑ニシ得ズシテ受クル損害ノ如何ニ大ナルカハ目ヲ開
イテ地理書ヲ一瞥スレバ、直チニ諸君ノ胸中ニ明白ナルコ
トデアルト確信致シマス、内田外相ハ更ニ反對黨ノ追撃ニ
會テ通口上ヲ言ハレタ、何ト云ハレタカト云ハレバ、對露通
商ハ國家トシテ認メテ居ナイ、ケレドモ個人的ニハ妨害シテ
居ナイト、是ハ全クノ遁辭デアリマス、現ニ昨年も政府筋デ
對露通商ハヤツテモ宜イシト云フヤウナ考ヲ持ッ人ガアリマシ
テ、松平總領事ノ如キハ民間ニ輪旋シテ、浦潮ニアル滯貨
ヲ引取ルコトヲ實業家ニ勸誘セラレタ、實業家ハ彼地ニ到
テ露西亞ノ滯貨ヲ引取ルコトヲ運動シタ、サウスルト頑冥ナ
ル我が出征軍ハ直チニ之ニ干涉シテ、過激派ト往來シタカ
ラ怪シカラヌトカ、此荷物ヲ引取ル交渉ハ、反過激派ノ某々
トシナケレバイカヌトカ、既ニ勢力ヲ失墜セントスル右黨ノ
面々ト取引セヨト云フヤウナ干涉ヲ下シタガ故ニ、遂ニ斯
ノ如キ事ハ成立セズシテ、折角出張シテ居タ人ハ、
手ヲ束ネテ歸ッテ來タト云フ事實モアリマス、又個
人的ノ通商ハ妨害シナイト言フテモ、日本政府ガ屢々、露
西亞ノ内政ニ干涉スルガ如キ宣言ヲ發シ駐屯軍

司令官ガ出先ニ於テ右黨ヲ援助シ、大井司令官ノ言ガ彼
ノ通りデアリマスレバ、其部下ニ居ル者ガ如何ニ其言ヲ峻
嚴ニ實行スルカ、是等ハ實ニ露西亞ノ内政ニ干涉スルモ
ノトシテ、露西亞人ノ怨ム所デアアル、此露西亞人ノ怨ヲ買ヒテ
ハ、露西亞ニ入ルコトガ出來ナイ、世界ノ經濟的斥候兵ハ
ドシ、露西亞ノ内地ニ繰込ミテ、通商ノ前提タルベキ調
査ヲ急イデ居ル、然ルニ今ノ如キ帝國ノ政策ガ繼續スル以
上、露西亞人ノ反感ハ我國ニ注ガレ來テ、調査スラモ不可
能デアル、調査不可能ニシテ通商セントスルコトハ、絕對ニ
出來ナイノデアリマス、ソコデ駐兵其モノハ通商妨害ニ非ズ
シテ何ゾヤト私ハ質問シタイ、ソレカラ西伯利、浦潮、哈爾
賓到ル處ニ於テ、我國ノ領事總領事ハ退去命令ノ權利ヲ
持ッ居リマス、其間ニ駐屯軍ノ壓迫ガアリマシテ、外務省ノ
派遣シタル役人ハ、悉ク軍部ニ掣肘セラリ、ノガ事實デアリ
マス、折角通商セント欲シテモ、當局者ノ好マナイ、軍閥ノ
好マナイ者ト話ヲ始メルト、彼ハ過激派ナリ、彼ハ危險ナリ
ト言フ、忽チ退去命令ガ下ルト云フヤウナコトハ、實際事
實デアリマス、又我國ノ出兵ガ直接ニ通商ノ妨害トナタ
ト云フコトハ、私ガ事實ヲ舉ゲテ申シマス、有名ナル大正七年
ノ三月事件ト云フモノガソレデアアル、最初露西亞ニ革命ガ
成立致シテ、共產主義者ガ「ブラゴエチエンスク」ニ入り來
タ時ニ、彼等ハ命令ヲ嚴格ニシテ、日本人ニハ干涉スルナ、
妨害スルナト云フコトヲ徹底セシメタ、日本人ハ依然トシテ
彼地ニ於テ通商モ出來レバ、貿易モ出來タ、其際ニ「ブラゴエ
チエンスク」ノ直グ向フニ黑波ト云フ所ガアリマス、「ハイポー」ト讀ミマス
其所ニ陸軍ノ特派武官ガ居タ、其特派武官ト參謀本部
ノ某將校ト二人デ共謀シテ、何デモ事ヲ起サネバナラス
過激派ヲ征伐シナケレバナラヌト云フノデ、「ブラゴエチエ
ンスク」ノ居留民ヲ召集致シマシタ、召集シテ、強ヒテ過激派
軍攻撃ヲ開始スルヤウニ義勇軍ヲ組織サセタ、其際ニ居留
民ノ大多數ハ之ニ反對デアッタガ、軍閥ノ手先ガ此順良ナ
ル帝國ノ居留民ヲ、打ツヤラ擲ルヤラ酷キ目ニ會ハシテ、汝
ハ過激派ヲ攻撃セヨト云フコトヲ申渡シ、遂ニ過激派ニ向
テ我カラ戰端ヲ開カシタ、一度ハ「ブラゴエチエンスク」ヲ占領致シマシタ
ガ、再ビ過激派ニ依リテ占領セラレ、澤山ノ死人ヲ出シ、遂ニ
同年九月ニ帝國ノ第七師團ガ「ブラゴエチエンスク」ニ乘込
ムマデハ、日本人ハ一人モ居ラレナイト云フ狀態ニナタ、軍
閥ノ手先ガ帝國ノ外交ト何等關係ヲ持タズ、一身ノ手心
デ居留民ヲ毆打シ、居留民ヲシテ過激派ヲ敵トセシメ、ソレ
ガ根本トナリテ、彼我ノ間ニ相殺傷スルノ慘劇ヲ演ゼシメ、
而シテ今日我國ノ駐兵ガ不可能トナルヤ、到ル處ニ共產主
義者ノ反感ヲ買ヒタル我國民ハ、兵ノ存在セザル所一人モ
踏留マルコトガ出來ナイト云フガ如キ醜態ヲ形造タノハ、

帝國ノ干涉政策ノ導キ來シタル所ノ、悲ムベキ現實デアルト云フコトヲ私ハ遺憾トスルノデアリマス駐兵スレバ長ヘニ干涉デアル干涉ヲ繼續シテハ通商ハ不可能デアル、私ハ今日撤兵スルコトガ絕對ニ急務デアル、然ルニ政府ガ躊躇逡巡シナガラ、而モ露西亞ニ對スル個人的通商ハ妨害セズナル者ニ、政治的良心アリヤ否ヤヲ疑フデアリマス(拍手)更ニ列國ノ關係ヲ眺メマシテモ、亞米利加デモ、英吉利デモ、佛蘭西デモ、如何ナル國デモ、露西亞ニ對スル政治ハ各、自國ノ立場ニ依リテ、慎重ノ打算ノ上ニ施シテ居ルノデアリマシテ、我國ノ如ク、初ヨリ宗教的ニ過激主義ハ我國體ニ害アリナント云フ簡單ナル前提ノ下ニ、軍閥ヲシテ其情實ヲ糊塗セシムルガ爲メニ、重大ナル外交方針ヲ決シテ居ル國ハ一國モ無イノデアリマス、亞米利加ハ如何デアリマスルカ、米國ト日本トハ協調シテ出兵致シタガ、亞米利加ハ其出兵ノ不利ナルヲ見ルヤ、日本ニハ通告モセズシテ撤兵シテシマツ、彼等ハ歐露ニ於テハ佛蘭西ノ勢ヲ顧ミテ、反過激派ノ宣言ヲ發シマスルガ、極東ニ於テハ日本ノ勢力ヲ驅逐セシガ爲メニ、寧ろ過激派ヲ聲援シテ居ルコトヲ當局者ハ何ト見ラ、ルカ、現ニ重大ナル事件ガ、日本ノ對露政策ノ一定セザルガ爲メニ今起テ居ルノデアリマス、露西亞ガ戰前ニ有シテ居リマシタル長春ヨリ哈爾濱ニ至リ滿洲里ヨリボグラニナヤニ至ル東清鐵道ハ、唯今過激派政府ヨリ支那ニ讓渡サレテ居リマス、支那ガ獨力ヲ以テ此東清鐵道ヲ經營スルノ能力不足ナルコトハ、明白ナル事實ガアリマス、其背後ニハ亞米利加人ガチャント居テ、東清鐵道ヲ支配シテ居ルノデアリマス、嘗テ帝國ノ勢力範圍ナント我が軍閥ガ誇言シテ居タ北滿洲ニ、亞米利加人ガ土足デ踏込ミ來テ、米國ト露西亞ト支那トノ共同排日ヲ計畫シテ居ルノハ、今日ノ事實デアリマス、露西亞モ、支那モ、俱ニ誤レル我が軍閥ノ對露政策ニ疑ヲ懷キ、怨ヲ懷キ、相結托シテ亞米利加ニ繼リ、亞米利加ヲ奉ジテ此大陸ニ共ニ排日ヲ援助シテ貰フテ居ルト云フ此事實ヲ、政府當局者ハ何ト見ルカ、我國ハ嘗テ七万五千ノ大兵ヲ出シタ、其時三軍閥ハ烏拉爾以東ハ我物ナリト云フガ如キ意氣込デアッタノデアリマス、然ルニ七万五千ノ大兵モ大勢ニ逆ヘバ何等ノ效力ガ無イ、亞米利加ノ一市民タル——技師タル「スチーブン」氏ノ一本ノスチーキガ、帝國七万ノ軍隊ヨリモ強く、遺憾千萬モ我が七万五千ノ大軍ハ、亞米利加ノ一市民一本ノスチーキニ依リテ逐拂ハレ、オムスク「支ヘズ」チタ「支ヘズ」、沿海州ノ南部ニ慄ヘナガラ、過激思想ノ侵入ガ恐ロシナド、時代錯誤ノ迷語ヲ發スルニ至テハ、何等ノ悲惨ナル狀態デアルカ(拍手起ル)古人ハ「挺ヲ撻テ秦楚ノ堅甲利兵ヲ撻ツベシ

ト言ヒマシタガ、大勢ニ反スル我が私軍ハ——公デナイ軍閥ノ私ノ軍ハ、亞米利加ノ一市民タル「スチーブン」氏ノ、杖一本ヨリモ弱カリシコトヲ衷心ヨリ耻ヅルノデアリマス、又英佛ノ態度ヲ見マシテモ、深ク自國ノ立場ヲ考慮シテ後ノ行動デアリマシテ、我國ノ如キ情實ノ爲メニ、故ナク隣邦ノ國民ヲ罵ルト云フガ如キ態度ハ執テ居ナイノデアリマス、波蘭ヲ強大ニシテ北「ダンチヒ」ニ押出サシムルト云フノガ、佛蘭西ノ政策デアリマス、彼ハ之ニ依リテ強大ナル波蘭ニ依リテ、獨逸ト露西亞ト兩國ヲ牽制シ、自國ノ立場ヲ安穩ニスルト云フ政策ヲ執テ居リマス、英吉利ガ之ヲ支ヘルハ露西亞ヲ其方面ニ牽制シテ、印度、波斯、阿富汗斯坦ノ壓迫ヲ避ケントスル、何レモ複雜ナル外交關係ヲ考慮シテ後ハ、波蘭援助デアリ、露西亞干涉デアリマシテ、帝國ノ如ク何等ノ考慮ナキ軍閥ノ私情ノ爲メニ、無方針テ隣邦ニ干涉スルモノトハ、異テ居ルノデアリマス、世界ニ於テ日本ト波蘭トノ二國ガ現ニ緩衝國ニセラレテ居ル、當局者ハ西伯利亞緩衝國ヲ造ルナド、愚ナル議論ヲ爲シテ居ルガ、世界ノ知慧アル國ハ、此日本ヲ以テ極東ノ對露緩衝國トシテ居ル、波蘭ハ緩衝國トナリタル、代價トシテ總ニ獨立ヲ得チ得テ、日本ハ緩衝國トナリタルガ爲メニ、過激派ト獨合ヒ挑合ヒ、疲弊ヲシタル曉ニ、第三者ニ料理セラレントスルガ如キ、悲惨ナル狀態ニ向テ政策ヲ進メ、アルハ、何タル醜態デアリマス、時ニ「チタ」政府ハ今ヤ成立致シマシテ、憲法協議會ガ一月ノ二十五日カラ開カルベキ狀態デアリマシタガ、此「チタ」政府ハ大ニ日本ノ對露關係ヲ考慮シ、日本ノ舊思想家ノ怒ヲ買ハザルヤウニ其協議ヲ慎重ニシテ、色ニ問題ヲ考慮シ、今ニ協議會モ開始スルニ至ラナイ、併ナガラ「チタ」政府憲法案案ナルモノガ此所ニアリマスルガ、其中ニ「勤勞セサルモノハ衣食スヘカラス」ト云フ一箇條ガアリマス——「勤勞カイ者ハ衣食ウヘナラス」(君ハ如何「ト呼フ者アリ」此一箇條ガ、實ニ西伯利亞ニ於テ餓エタル人々ノ心ヲ喰ルニ非常ノ力ガアリマス、之ニ反對シテ日本ハ何故ニカ勤勞セズシテ衣食セムトスル、舊露西亞ノ遺物ノミヲ引來リテ、或ハ「セミ」ノ「フ」トカ、其他ノ軍人ノ成上者ナドヲ援助シテ、勤勞セザル者ヲ以テ西伯利亞統一シ、此勤勞セザル者ノ力ヲ統一シテ、勤勞ニ依リテ衣食セントスル露西亞ヲ擊ツトスルガ如キ顏色ヲ示スノハ、實ニ露西亞ノ大勢ニ背クモノト私ハ斷言致シタイ、「チタ」政府ハ今ヤ共產民主主義ニハナラズシテ、社會政策ヲ徹底セシムル民主主義ノ緩衝國トナラントシテ居ル、是ハ前途如何ニ變ズルカモ知レマセズガ、露西亞ノ本國ノ「レーニン」其人モ、西伯利亞ノ如キ農業地方ニハ、共產主義ハ徹底的ニハ行ハレナイ、工業地ニ於テノミ之ヲ徹底セシムルコトガ出來ルト云フ意見ヲ持テ居リマスカラ、或

ハ西伯利亞徹底セル共產主義ノ國トハナラズ、社會政策ヲ採用シタル、一ノ民主的國家トナルカモ知レヌ、併ナガラ是モ日本ニ氣兼ねタル彼等ノ立場デアリマスカラ、或ハ進ンデ共產主義ノ國家ヲ造ルカモ知レナイ、併ナガラ唯今共產主義ノ西伯利亞出來タニシタ所デ、帝國ガ之ニ干涉セントスルモ出來ナイノデアリマス、農業國ニ於テ共產主義ヲ實現スルコトハ、事實困難デアルトスルノミ、若シモ露西亞ノ當局者ガ覺ラズシテ、工業國ニシテ行ハルベキ共產主義ヲ、餘著ナルニ西伯利亞徹底セシメントシタナラバ、其弊害ノ顯著ナルニ及ンデハ、日本ガ干涉セズシテ露西亞ノ住民ガ先ヅ之ニ反對スルカモ知レナイ、日本ガ干涉セズシテ彼等ガ自ラ爲スニ委スレバ、露西亞ニ不當ニシテ、人民ノ幸福ヲ増進シ得ザルガ如キ主義政策ハ、自國民ノ嚴峻ナル反對ニ依リテ、自ラ倒レルコトヲ私ハ疑ハナイ、外ヨリ干涉セズトモ、彼等ノ缺陷ハ彼等自ララ亡ボスデアラウ、日本ハ何故ニ力ナクシテ兵ヲ出シ、果テシモナキ其前途ニ干涉ヲ加ヘントスルカ、私ハ衷心ヨリ此頑迷ナル政策ヲ遺憾トスルノデアリマス(「ヒヤ——」)元氣アル國民ノ前途ニハ、希望アリテ恐怖アルコトナシ、諸君ハ日本ノ民族性ヲ信ゼラレ、其愛國ノ諸君ガ何ヲ恐レルノデアルカ、普通選舉ヲ恐レ、勞働運動ヲ恐レ、朝鮮ノ不逞鮮人ヲ恐レ、支那ノ新思想ヲ恐レ、過激派ヲ恐レ、總テモノヲ、恐怖シテ時代錯誤ノ劍附鐵砲ヲ國際政策ニ振廻ハシテ、我國體ヲ脅威スルガ故ニ、恐シナド言テ居ラレハ、何タル意地ナキ狀態デアルカ、私ハ之ヲ衷心ヨリ遺憾ニ思フノデアリマス、(拍手起ル)過激思想ハ外ヨリ來ルデナイ、哈爾濱街頭ニ行シテ御覽ナサイ、一流ノ料理屋ニ於テ夜ノ二時マデモ三時マデモ、自動車ガ横付ニナテ居ル、誰ノ自動車力之ヲ調ベテ見レバ、陸軍部ニ屬スル自動車デアアル、陸軍ノ特務機關トカ、特派武官トカ、司令部ニ屬スル人ミトカ、閣下トカ何トカ云フ連中ガ、每晚殆ど泥醉シテ料理屋ニ入浸ッテ居ル、彼等ノ居ル室内ハ「ベーチカ」ノ氣ニ蒸サレテ、歡樂ノ聲湧クガ如クアリマスルガ、其外ヲ看ヨ、自動車ノ「シヨッファア」ハ、皆我が忠良ナル臣民デア、此我が忠良ナル臣民ガ、自動車ノ「シヨッファア」トシテ、零點下三十度ノ寒サヲ耐ヘテ、閣下等ノ遊樂シテ居ルノ事デアルト私ハ思フ(拍手起ル)過激思想ハ露西亞ヨリ來ルニ非ズ、矛盾セル我が西伯利亞出兵ノ政策ガ、我が國民思想ノ根本ヲ襲ウテ居ルモノデアルト思フ、此醜態ヲ政府當局者ハ何ト看ラレルカ、過激思想ノ侵入ヲ恐レルト稱シテ他國ニ出兵シ、我が忠良ナル軍人ノ心中ニマデ、過激思想ヲ自發セシメントスル、此過ヲ覺ラザルカト一言シタイノデアリマス(拍手起ル)社會主義ハ要スルニ

「パノラマ」ノ如キモノアリマシテ、其前ノ方ハ立體的現實
デアアルガ、先ノ方ハ現實ト異ナル平面的ノ畫デアアルカモ知レ
マセヌ、此内容ヲ解剖スレバ、國民ハ自ラ畫ト現實ノ部分ト
ヲ明白ニシテ決シテ、此思想ニ動カサルコトハナシ、然ルニ
之ニ對スル研究ヲ禁ジ交通ヲ禁ジ、通商スレバ過激思想ノ
宣傳ガ恐ロシナド言テ居ルカラシテ、無智ナル者ハ其立
體ト平面トノ境ヲ明白ニスルコト能ハズシテ、却テ之ニカフ
レルカモ知レヌ、又露西亞ハ現ニ一億七千万ノ人命ヲ賭シ
テ以テ之ヲ試驗管ノ中ニ入レ、「コム、ユニズム」ヲ試驗シ
ツアル、其結果如何ナル物ガ現ハレルコト云フコトハ列國ノ
窺ヒ知ラントスル所デアアル、故意ニ外ヨリ來テ其試驗管ヲ
叩壊サウト云フ如キコトハ、世界ノ文明思想ガ如何ニ進ム
カラ諒解セサル、無智頑冥ノ輩デアアルト私ハ斷言致シタイ
デアアル、露西亞ノ狀況ハ我國ニ事實傳ヘラズシテ、虛誕ノ
報告ニ充タサレテアリマスルガ、我軍ヲ「チタ」ヨリ撤退シテ
後ニハ、既ニ惡魔ノ修羅場ノ如ク傳ヘラレタル露西亞本部ノ
秩序ガ、段々恢復致シマシテ鐵道モ既ニ滿洲里マデ開通
致シ、此頃莫斯科方面ノ郵便物ガ滿洲ニモヤテ來マス
一億七千万ノ餓エテ叫ビツ、アル國民ヲ故ナク敵トスルニ
於テハ、其人民ガ其廣大ナル國土ニ勞役ヲ加ヘ、物資ヲ出
シ、經濟ノ秩序ヲ恢復シ來テ、我國ト衝突スルニ至ルカモ
知ラス、私ハ今ノ如キ不徹底ナル出兵ヲ繼續スルニ於テハ、
遂ニ過激派露西亞ト日本ガ、正面カラ衝突スル日ノ到リ
ハセヌカト思フデアリマス、隨テ露西亞ヲ侮レバ大變ノ間
違ヲ招ク、此度日露衝突スルニ於テハ、非ハ我國ニ在リ、世界
ノ輿論ハ非ナル日本ニ味方セズシテ我國ト英國トカ云フ
トカ、其他ノ國モ露西亞ヲ援テ、我國ト衝突スルコト云フ
ガ如キ、悲慘ナル外交上ノ運命ニ到著スルコト云フコトハ、今
日豫メ我國民ガ覺悟シテ置カケレバナラヌ事デアアルト思
ヒマス、世界ノ大勢ニ反スレバ、七万五千ノ兵ヲ出シテモ亞
米利加ノ「スチーブンズ」ノ「ステッキ」モ抵抗スルコト出
來ナシ、大勢ニ反シテ露西亞ト衝突スレバ剛健ナル我が大和民
族モ、一ト支ヘモナシト云フコトヲ今カラ私ハ憂慮スルノデ
アル、要スルニ此對露不干渉通商開始ハ、我が外交政策ノ
核心トナルベキ根本主義デアリマス、政友會内閣ハ常ニ我
國ガ五大國ノ一ニ入ラタコトヲ誇テ居ラマス、我國ガ世
界ニ於テ大國タルノ面目ヲ維持スルコトハ、帝國ガ露西
亞トノ經濟關係ヲ圓滿ニ解決スルコトニ依テ決スル
思フ、戰前ニハ我國當局者ノ誇ルコトヲ待タズシテ、世界ハ
我國ヲ六大強國ノ一ニ數ヘ、其際ニ亞米利加ガ滿洲鐵
道ノ中立ヲ提議シ、又英米ノ資本家ニ依テ、錦愛鐵道ト
云フ我が南滿鐵道ト競争スル鐵道ガ計畫セラレタ時、日本
ト露西亞ハ默契シテ之ニ當リ、日本ガ斷手タル態度ヲ明カ
ニセザルニ先ダテ、露西亞ガ嚴重ニ之ヲ拒絕シタ、日露手ヲ
携ヘル時ニ於テハ、極東ニ指一本ヲ指シ得ル國ハ無カ、是
ガ即チ五大國ノ一タル面目デアアルト思フ、然ルニ今ハ朝鮮
ノ人心ヲ失シ、支那ヲ排日ニ驅リ、露西亞ノ上下ヲシテ帝

國ヲ疑ハシメ、其背後ニ米國ノ策士ガ蠢動シテ、共同ノ排
日ヲ營マントスルニ至テハ帝國ノ五大國タル面目何クニ
在ルヤ、(拍手起ル)政友會諸君モ、五大國ノ一タル面目ヲ
政府ノ宣言通リ維持セント欲スルナラバ、對露不干渉ノ趣
旨ヲ明白ニシ、即刻撤兵ヲ斷行スル如キ外交方針ニ出デシ
ムル態度ヲ決定セラレンコトヲ切望スルデアリマス、日英
同盟モ前途陰翳ヲ有シテ居リマスガ、英國ハ日本ヲ何故ニ
尊敬シタコト云ヘバ、少クモ極東ノ人心ノ和ヲ得テ、此亞
細亞大陸ノ後口ニ脊負テ立テ居ラタカラデアリマス、若シ
露西亞人民ト親善シ、通商貿易ノ基礎ヲ確立スルニ於テハ
日本ノ力ハ「ユウラシヤ」大陸ニ互ルモノデアリマス、此人
ノ心ヲ得タル日本ヲ、如何ナル國ト雖モ開却スルコト出
來ナイ、日英同盟ヲシテ繼續セシメ、又單ニ文書ノ上ニ於テ
ナラズ、精神ノニ有テシテ繼續セシメ、今日唯今對露政策
ヲ一變スルコトガ最モ急務デアリマス、今日英同盟ヲ外
交ノ骨子トセラル、憲政會諸君ハ、直チニ之ニ同意セラル、
モノト思フ、産業立國主義ヲ唱ヘラル、國民黨諸君モ、本
案ニ異議ナキモノト思フ、又亞米利加ト軍事協定ヲナサント
欲スル新進ノ政客諸君モ、亞米利加ニ對シテ平和的誠意
ヲ披露スルコト共ニ、日本ヲシテ頭ヲ擡ゲサシメテ平和的誠
意ヲ執ルニ於テハ、六千万ノ人民ヲ解放セラレテ、「ユウラシ
ヤ」大陸ノ虐ケラレタル露西亞人民ト手ヲ把テ、極東ニ新勢
力ヲ造ルト云フダケノ仕組ヲ結ボコトハ、軍事協定ヲシテ實
際的ニ可能ナラシムル、唯一ナル手段デアアル確信致ス、彼
朝鮮人心ノ不穩ヲ以テ撤兵不可能ノ理由トスル如キハ、
軍閥者流ノ短見デアリマス、帝國ガ朝鮮ヲ支ヘルト否トハ、
我が出征軍人ガ抑壓スル駐マラスニ依テ決セバ、憲
兵ニ依テ人民ガ抑壓スル駐マラスニ依テ決セバ、日本ガ國
際的ニ有能ニシテ、且ツ尊敬ヲ受クベキ國家トシテ存立シ
極東ノ平和ニ指一本ヲ指サセナシト云フ基礎ヲ確立スルカ
否ヤニ依テ決スルデアリマス、朝鮮人心ノ惡化ヲ防ガ
ンガ爲メニ西伯利ニ出兵スルコトハ、私ハ言ヒ通レノ爲メトシ
テハ最モ愚カナル口上デアアルト思フ、朝鮮ノ人心ノ惡化ヲ
防ガントセバ、朝鮮ニ對シテ一視同仁ノ政策ヲ徹底セシム
ルガ宜シ、西伯利出兵ハ害アリテ益ナキモノト私ハ斷言
致シマス、本案ノ趣旨ハ要スルニ對露不干渉ノ趣旨ヲ明白
ニシ通商共益ノ基礎ヲ確立スベシト云フ意思ヲ明白ニシ、
之ニ忤ル政府ノ方針ハ、日本帝國ノ心アル良民ガ推戴
致サザルモノデアアルト云フコトヲ、中外ニ闡明センコトヲ根
本趣旨ト致スデアリマス、希クハ滿場諸君ノ一致可決ヲ
爲サレンコトヲ切望シテ壇ヲ降ル次第デアリマス、(拍手起ル)
○岩崎勳君 本案ニ對シテハ、先ツ政府當局ノ辯明
並ニ意見ヲ求メタイト思ヒマス

シテ、此決議案ニ對スル政府當局ノ所見ヲ、簡單ニ一言致
シテ置キタイト思ヒマス、唯今ノ提案者ヨリ縷々御説明ノ
演說ヲ承リマシタガ、其議論ハ甚ダ多岐ニ互テ居リマスル
ガ、要スルニ其趣意ハ此決議案ノ文書ニアル通りノコトア
ラウト思フデアリマス、然ルニ此決議案ノ文句ヲ拜見致シ
マスルト、頗ル理解シ難キ點ガアルデアアル、提案者モ先
程自ラ申サレマシタ通り、此決議案ハ初メ「對露不干渉
ノ趣旨ヲ明白ニシ通商共益ノ基礎ヲ確立スベシト云フ」
デアタルデアアル、然ルニ此形ニ於テハ建議案ノ如キモノナ
テ居ル、ソレナラバ形ヲ變ヘル必要カアルト云フコトガ、本院
各派ノ御意見デアッタヤウニ示シテ居リマス、ソコデ建議
案ノ内容ノ如クアルト云フ所カラ形ヲ改メラレマシテ、茲ニ
今吾々ノ前ニ訂正セラレテ居リマスル如ク、(衆議院ハ政府
ノ對露不干渉ノ趣旨明白ヲ缺ク通商共益ノ基礎確立セ
サルモノト認ム)斯ウ御訂正ニナツタデアリマス、提案者ノ
趣旨ハ執レニ在ルデアアルコト、段々御説明ヲ承リマス、矢張
不干渉ノ趣旨ヲ明白ニシ、通商共益ノ基礎ヲ確立スベシト
云フノガ、眞ノ意思デアアルト云フヤウナコトモ申サレテ居ル、
然ラバ政府ニ對シテ斯ク「ノ政策ヲ執ルベシト云フ」建議
ヲ爲サルヤニモ見エラルデアリマス、併ナガラ建議ヲスルノ
ハナシト云フ、政府ニ建議ナリマス、唯此斯ク「セザル
ハナシト云フ」モ、認ムコト云フ己ノ意思、此建議トシテノ意
思ダケヲ茲ニ表明シテ置クデアアルト云フ、然ラバ政府ノ對
露不干渉ノ趣旨ガ明白デナシ、通商共益ノ基礎ヲ確立シ
テ居ナイ、ソレガ甚ダ都合デアラカラト云フノデ、政府ヲ彈
劾スルノデアアルコト思ヘバ、ソレ程デアリマス、政府ニ
建議スルニ非ズ、又彈劾スルニモ非ラズ場合ニ依テハ彈劾ラ
シナイ口吻ヲモアリマス、(本論ニ入レト呼ボウ云フ意味ヲ
モナイヤウデアリマス、)本論ニ入レト呼ボウアリ、斯ノ如キ
建議ヲスルト云フノデモナシ、斷乎トシテ是ダケノ事ヲ政府
ガシテ居ナイハ、不都合デアアルト云フ、之ヲ責メル彈劾スル
ト云フダケノモノデアリマス、其中間ノトナラニモ附カナイ、奇
妙ナ消極的ノ意味ノ認定ヲ決議スル此所デナラシト云フノハ
ドウ云フ御趣意デアアルカ、甚ダ私ハ其眞意ヲ疑ハザルヲ得
ナシ、決議案ニ對露不干渉ノ趣旨明白ヲ缺キ「云々」ト云フ
トガアリマス、此建議案ノ趣旨ハ頗ル明白ヲ缺キ「云々」ト云フ
居ルト思フデアリマス、(ヒヤ、)「ト」政府ノ通商共益ノ
基礎ヲ確立シナイト云ハレルガ、此問題ヲ以テ起レル提案
者ノ態度モ、餘リ確立シテ居ナイヤウニ思フ、(笑聲起リ拍
手スル者アリ)併ナガラ提案者ハ、大ニ國家ノ爲メニ西伯利
問題ヲ憂ヘラレマシタ、大ニ慷慨ノ意見ヲ漏サレ、私大ニ
敬意ヲ以テ其點ハ承タラデアリマス、而シテ其御趣意ハ大
體露西亞ト通商關係ヲ開クト云フコトガ最モ必要ナコトデ
アル、ソレニハ徹兵ガ必要ノ條件デアアル、徹兵ヲシロ、斯ウ云
フコトガ先ヅ一番ノ御趣意ノヤウデアリマス、ソレナラバ徹
兵論ヲ卷頭ニ掲ゲテ御出シナツテ宜サ、ウニ思ヒマスガ決
議案ノ卷頭ニソレハ謳テアリマスガ政府ノ西伯利ニ對

○議長(奥繁三郎君) 静カニ……
○中野正剛君 提案ノ主旨ニ對シテ議場ニ……
〔無用々々〕無用ニ非ズ「ト呼フ者アリ」
○議長(奥繁三郎君) 静ニ……
○中野正剛君(續) 徹底ヲ缺クヤウデアリマスカラ、更ニ說明ヲ致シマス
○議長(奥繁三郎君) 諸君、議案ノ提出者ガ提出ノ理由ノ足ラナイ所ヲ重ネテ補充スルノハ、先例モアリマスカラ今許シマシタ、ケレドモ先キノ足ラナイ所ヲ補充スルニ止メマス「重複ニナッデハイケンain」先例ガアリマス「默レ」ト呼フ者アリ
○中野正剛君(續) 提案ノ理由ニ對シテ彈劾的デアアルカ、建議的デアアルカ、議場ニ徹底シナイヤウデアリマスカラ、徹底セザリシ所ヲ今一應申上ゲマス、本員ガ對露干涉ノ主旨ヲ明白ニシ、通商貿易ノ基礎ヲ確立セシト云フ意思ヲ、中外ニ宣揚スルコトガ目的デアルト申シマシタラ、林君ノ唯今ノ説明ノ如ク、政府當局者ガ曖昧模糊タル意要ヲ持シ、毫モ此撤兵ヲ計ラザルニ於テハ、衆議院ノ決議ハ當然政府ノ彈劾デアリマシテ、此案通過ノ曉ニハ政府ハ彈劾以上ノ痛撃ヲ受ケタモノト御覺悟ニナルガ宜イ……
〔モウヨセ〕ソレデアリ「引込メ」ト呼フ者アリ其
他發言者多シ
○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ……
○中野正剛君(續) 林田君ノ——(笑聲起ル)林君ノ……
〔默レ〕降壇々々「何ヲ言フ」ト呼フ者アリ 其他發言者多シ
○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ……
○中野正剛君(續) 議論ハ頗ル勅參的ノ議論デアリマシテハ、生意氣言フナ「何ヲ言フ」舊來ノ老廢セル官僚其儘ノ口吻ヲ一衆議院議員中ヨリ特ニ選バレテ、外務省ノ參事官トナリ清新ノ氣ヲ……
〔生意氣ヲ言フナ〕無用々々「無用デナイ」ヤレヤレト呼フ者アリ 其他發言者多シ
○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ……
○中野正剛君(續) 注目スベキ立場ニ居ル人ノ議論トシテハ、頗ル不徹底デアリマス、私ノ申シタル議論ハ十分徹底スベキニ拘ラズ、政友會員ノ中ヨリ、斯ノ如キ一時遁レノ議論ヲ茲ニ披露シテハ、ソレデアリ何カ説明ダ「ト呼フ者アリ」故意ニ本案説明ノ趣旨ヲ明白ニシマイトスル、其趣意ガ判ラナイデアル……
〔此時發言スル者多シ〕
○議長(奥繁三郎君) 中野君、一寸……磯田衆三郎君、卓ヲ叩クコトハ相成リマセヌ
〔中野寅吉君「中野君ノ御話ハ判リマシタ、賛成ヲ致シマスカラ止メテ下さい」ト呼フ〕
○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ……
〔賛成シマス〕ト呼フ者アリ
○議長(奥繁三郎君) 中野君、發言ヲ注意シマス

○中野正剛君(續) 政府が自衛的ノ意味ヲ以テ駐兵シテ居ルト云ハレマシタガ、何ヲ自ラ衛ルノデアルカ、其自衛ノ趣意ハ少シモ判ラナイノデアリマス、大勢ニ反シテ兵ヲ出スコトハ、自ラ衛ルニ非ズシテ、自ラ傷ケルノデアル、自ラ危地ニ投ズルモノデアル、然ルニ自衛的ノ意味ノ駐兵デアルト云フガ如キ辯駁ガ諸君ニ依リテ、拍手ニ依リテ迎ヘラル、ノハ、貴方ノ耳ガ惡イ證據デアル、重ネテ申上セマスカラ能ク御聽ナサイ(何ノ説明ダト呼フ者アリ)不徹底ナル出兵ヲ繼續シ、其兵ヲ引クモ豫定ノ「コース」ナクシテ、逃ゲテ歸ルニ外ナラヌ、我國ハ明治以來數回國外ニ兵ヲ動シマシタガ、我が將軍ノ敗レテ歸ルノヲ見ルハ初メテデアル、大井司今官ノ凱旋トハ何事ゾ、拍手ニ何ヲ言フテ居ル、ト呼フ者アリ)左様ナ不徹底ヲ辯明ヲ拍手ヲシテ迎ヘル諸君ニ、何回モ起テ説明スルノ必要アルコトヲ私ハ確信致ス、拍手「ウエル」政府ノ「クラエ」ノスチヨコフ「カラ」復メラレタ言デ大得意デアリマスガ「クラエ」ノスチヨコフ「ハ」千變萬化デアリマシテ、大井司今官ノ宣言ノ不可ナル所ハドシ、辯駁シテ居ル、澤山其辯駁ハ新聞ニ載テ居ル、現ニ兵ヲ駐劄シテ居ルコトハ干渉デアルト云フコトヲ明言シテ居ル、其中大井司今官ガ干渉デアルト云フタカラ、其一語ヲ取テ不干涉ヲ御在デナサルト云フコトヲ言フタカラ、其翻弄ヲ受ケテ置イテ、「クラエ」ノスチヨコフ「ガ」斯ウヤラハ、我が政府ノ公明正大ナル趣旨ガ露西亞ニ歡迎セラルレテ居ル證據デアルト云フ(説明ニ非ズト呼フ者アリ)林毅陸君ノ辯明ハ、聊モ要領ヲ得ナイ、本員ノ趣旨ヲ何處ニ聽イテ居ラレマスカ私ハ判ラナイ(辯駁デナイカ)其點ナラ大ニヤリ給(下呼フ者アリ)最モ通商ヲ一通商ノ開始スルコトハ、兵ヲ撤シテモ不可能デアルト云ハレマスガ、成ル程ガ今日兵ヲ撤シテ今日通商ヲスルコトハ覺束ナカラウ、通商ニハ豫メノ調査モ要スレバ、人ヲ派遣スルコトモ必要デアル、通商シ得ルガ如キ外交關係ヲ作成スルニハ、先ヅ撤兵ヲ開始スルガ如キ外交方針ニ變ヘナクシテバナラヌト云フコトハ、本員ガ説明シテ要旨デアル(拍手)其點ガ御判リナラナイナラ、能ク耳ヲ澄ヘテ今申スコトヲ御聽ニナルガ宜イ(拍手)

林毅陸君ノ議論ハマルデ成テ居ラナイ……
○議長(與繁三郎君) 討論ハイケマセヌ
○中野正剛君(續) 露西亞トノ通商ハ英國スラモ不可能ト答ヘラレタ、併ナカラ英國ハ兵ヲ撤シテ、通商ノ方ニ向ッテ十分力ヲ注イデ居ル、現ニ「スカンデナビヤ」半島ヲ通ジテ英國トノ通商ハアル、倫敦ヲ羅馬ニ麻ヤ木材等ノ露西亞ノ產物ガ確ニ現レタル、一年以前ノ事デアリマシテ、英國政府ガ對露通商ニハ妨害ヲ加ヘナイデ、個人ノ通商ヲ補助シテ居ルト云フコトハ明白ナ事實デアル、英國ガマダ條約ヲ結バマカラ、俺ノ所ハ兵ヲ置イテ置イテモ宜イト云フヤウナ事ヲ政友會員ニ依テ説明サレニ於テ、諸君ハドウウ私ノ演説ヲ御聽ニナシタカ、モウ一度出直シテ御聽ナサイ、又此頃ノ政府當局者ハ能ク左様ナ事ヲ申ス、人ノ意見ヲ聽イテ居ラレテ、苦シクナルト何時デモ悲鳴ヲ舉ゲテ曰ク、貴

方ハ議論ヲシサスレバ宜イトハ何デアル、左様ナ事ハ原首相ガ能ク言フコトデアル、林毅陸君ノ如キ新シキ人物ガ……
○議長(與繁三郎君) 中野君、討論ハ許シマセヌ
○中野正剛君(續) 今頃言フト云フコトハ怪シカラヌ次第デアルト思ヒマス、本員ハ此決議案ニ對シ、斯ノ如キ不徹底ナル態度ヲ以テ、政府ガ一時ヲ糊塗セントスル以上、彈劾ノ意味ヲ明白ニ含ムモノデアルト云フコトヲ斷言致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ニ就テハ唯今林政府委員ヨリ陳述セラレタ通りデアリマシテ、是レ以上別ニ討論ヲ用井ル必要ハナイト考ヘマス、直チニ即決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ最終ノハ、即決スルト云フノデスカ
○岩崎勳君 サウデス
○議長(與繁三郎君) 諸君ニ諮リマス、此決議案ニ對シマシテハ、別ニ討論ノ通告者モアリマセヌ故ニ、採決セント欲シマス、御異議アリマセヌカ
○議長(與繁三郎君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、此中野正剛君提出ノ決議案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(與繁三郎君) 賛成者起立
○議長(與繁三郎君) 起立少數(拍手起ル)起立少數ノ宣言ニ御異議ナシト認メマス
○議長(與繁三郎君) 起立少數(拍手起ル)起立少數ノ宣言ニ御異議ナシト認メマス
○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

○議長(與繁三郎君) 仍テ否決セラレマシタ——日程第十五字岩鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者植竹龍三郎君

第十七 發明獎勵ニ關スル建議案(與村安太郎君外二名提出)

發明獎勵ニ關スル建議案

諸般ノ發明ハ社會ヲ裨益スルモノニシテ之カ獎勵ヲ爲スハ人類界ノ幸福ヲ増長セシムル所以ナリ我カ邦ニ於ケル獎勵法敢テ絶無ニ非スト雖皆形式的ニ止マレルカ如キ觀アルヲ遺憾トス故ニ大ニ之ヲ獎勵シテ國益ヲ進メラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔與村安太郎君登壇、拍手起ル〕

○與村安太郎君 諸君、發明獎勵ニ對シテ、好意ヲ以テ發明ニ同情スルト云フコトハ人情ノ常デアリマス、何人ト雖モ之ヲ否定スル者ハ無カラウト考ヘマス、隨テ爰ニ詳細ハ申述ベマセヌ、唯ダ併ナガラ一寸申上デテ置キタイ事ガアル〔謹聽〕下呼フ者アリソレハ他デモアリマセヌ、日本人ノ頭ガ常ニ發明的天才ヲ有シテ居ル一事デアリマス、日本人ノ腦力ガ發明的天才ヲ有スルニ至、タコトハ、今更始メテ起、タコトデアリマセヌガ、是ガ證據ハ學理上證明スルコトガ出來ルヤウニナリタゴザイマス、是等ノ内容ハ委員會ニ於テ詳シク説明致シマスガ、唯ダ發明的天才ヲ有シテ居ルニ拘ラズ、日本人ハ小サナ改良の發明ノミガ今日ハ出來テ居リマシテ、獨立的獨創的ノ大發明ガ今日ハ出來テ居ラスノヲ、甚ダ遺憾トスルノデゴザイマス、之ニ對シテ獨創的大發明ヲ日本人ニセシメルニハ、申スマデモナク十分ノ資力ヲ必要トスルノデアリマス、所ガ我國ハ遺憾ナガラ、政府カラ僅ニ七萬圓計リノ金ガ之ニ使フコトガ出來テハ居リマスガ、歐米ノ如ク年々數千萬圓ノ費用ヲ出スコトカラ較ベマスレバ、洵ニ貧弱デアリマス、斯ノ如クシテ日本人ニ獨創的大發明ヲ強要スルコトハ、無理ナ議論デゴザイマス、私ハ之ニ對スル注文ヲ澤山有シテ居リマスガ、矢張是ハ委員會ニ於テ説明スルコトニ致シマス、時間ガ遅ナリマシタカラ、諸君ニ御速成ヲ掛ケルコトヲ差控ヘマス、猛烈ニ御賛成ヲ願ヒマス〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十八、產業組合補助ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者湯淺凡平君

第十八 產業組合補助ニ關スル建議案 湯淺凡平君提出

產業組合補助ニ關スル建議案

政府ハ全國各地ニ存在スル產業組合ニ對シテ相當補助ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔湯淺凡平君登壇、拍手起ル〕

○湯淺凡平君 諸君、本案ハ米價下落ニ依ッテ苦シンデ居リマス所ノ農村ノ救済ヲ、最モ徹底的ニ、自治的ニ、且ツ普遍的ニ行ハンガ爲メニ、產業組合ニ對シテ、低利資金ノ融通ヲ爲スベシト云フ建議デゴザイマス、何レ詳シキ事ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマスカラ、滿場ノ御賛成ヲ願ヒマス〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 本案ハ前ノ日程第十七、即チ與村安太郎君外二名提出、發明獎勵ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程十九、太茂、大黑鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者松岡俊三君

第十九 太茂、大黑鐵道敷設ニ關スル建議案 松岡俊三君外三名提出

太茂、大黑鐵道敷設ニ關スル建議案

眞岡輕便線茂木驛ヨリ栃木縣那須郡烏山、大桶ヲ經テ茨城縣久慈郡太子ニ達スル線路(三十二哩)並大桶ヨリ黑羽ヲ經テ東北本線黑磯驛ニ達スル線路(二十哩)ハ常陸、下野ノ兩國平野ヲ連結シ且那須平原ヲ縱斷シテ東北本線ニ合スル捷徑ニシテ産業上ノ開發並軍事用兵上鐵道敷設ヲ要スルコト極メテ切ナルモノアリ依テ政府ハ速ニ其ノ計劃ヲ立テ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔松岡俊三君登壇、拍手起ル〕

○松岡俊三君 諸君ノ御倦怠ノ折ニ詳シク申述ベルコトハ避ケマス、本建議ハ眞岡ノ輕便線茂木驛カラ、那須野平野ノ東北部ノ産業ヲ開發スル爲メニ、東北本線ノ黑磯驛ニ到達シヤウト云フ鐵道デアリマス、詳シキ事ハ委員會ニ於テ申述ベマスカラシテ、何卒御審議ノ上、御賛成下サランコトヲ希望致シマス〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 本案ハ前ノ日程第十五、即チ植竹龍三郎君外五名提出、宇岩鐵道敷設ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十、市實鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者友常毅三郎君

第二十 市實鐵道敷設ニ關スル建議案 友常毅三郎君外二名提出

市實鐵道敷設ニ關スル建議案

眞岡輕便線市塙驛ヨリ東北本線實積寺驛ニ達スル線路(十一哩)ハ下野平野ヲ橫斷シ兩鐵道ヲ連絡スル捷徑ニシテ産業ノ開發並軍事用兵上鐵道敷設ヲ要スルコト極メテ切ナルモノアリ依テ政府ハ速ニ其ノ計畫ヲ立テ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔友常毅三郎君登壇、拍手起ル〕

○友常毅三郎君 本案ハ栃木縣下ノ市塙ト申シマスル所ヨリ、實積寺迄ニ通ズル鐵道敷設ノ建議案デゴザイマスカ、〔反對々々〕宇岩鐵道ヲ澤山ダ下呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 中野君……

○友常毅三郎君(續) 詳シキ事ハ委員會ニ於テ申上デル積リデゴザイマスガ、何卒諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ前ノ日程ノ通り、植竹龍三郎君外五名提出ノ宇岩鐵道敷設ニ關スル建議案外一名ノ委員ニ、合セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議ハ無イト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是デ本日ノ日程ハ終了シマシタガ、諸問事項ガゴザイマス、第八部選出豫算委員永井作次君、第三部選出豫算委員橋本喜造君、右兩君ヨリ常任委員辭任ノ申出デガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト下呼フ者アリ〕

○議長(與繁三郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ許可シマス、次ノ本會議ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知申マシス、本日は是ニテ散會

午後四時四十二分散會

衆議院議事速記錄第十號正誤

頁	段	行	誤	正
一九六	上	三三	議論	附則此ハ
二〇一	中	四一	千太郎	安太郎
二〇二	中	四一	千太郎	安太郎